

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	東海大学	
留学期間	2025年 2月 13日 ~ 2026年 1月 12日	
所属学部・学科	総合文化学部・日本文化学科	※沖縄国際大学での所属学科
留学出発時の年次	3年次	※春出発の場合は4月時点の学年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	語学クラスのレベル：A2
帰国時	語学クラスのレベル：B1

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？ 所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。
留学開始時は、コンビニの店員さんが言っていることも聞き取れなく、自分の意見を述べるということが出来ない状態でした。また、自分の中国語に自信がなくて、分かっていたとしても何も言えず相槌で会話を終わらせていました。ですが、友達といる時に出来るだけ中国語で話すようにすると、口が中国語を話すことに慣れてきて、中国語を話すことに抵抗感がなくなっていました。帰国時には自分の中国語に少し自信がついて、地元の人とあいさつ程度の会話を楽しんで出来るまでになりました。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。
語学力の向上以外に、視野を広げる目的を持って留学しました。留学にいくと色々な国の人と出会います。今まで常識だと思っていたことが、全然通用しない場面も多く、当たり前が当たり前じゃない状況で、過ごすことは新しい視野を広げるいい機会になりました。例えば、宗教への価値観が変わりました。日本人はどの肉の種類でも気にせず料理に使う事が出来ます。宗教を持たない人の方が多く日本生活では、食べ物に配慮することがほぼありませんでした。ですが、イスラム教の友達は豚肉を食べることが出来ないの、ご飯を食べに行く、必ず確認をしていました。日本ではほとんどの場合みんな気にせず同じ食べ物を食べることが出来ますが、それが出来ないの、自然と私達も食べるお店を選んでいました。それが最初は違和感があったのですが、慣れていくと、気づかなかった時に友達に豚肉が使われていると教えたり、助け合いを自然とするようになりました。日本にいる時は気づかなかった、宗教への配慮などを学べました。
授業を通して、発言をすることの大切さを学びました。最初の頃は、自分の中国語に自信がなくて、全然発言をしなかったのですが、他の生徒は、分からなかったら分からないとはっきり意見を述べていて、自分達で授業を作っていました。また、しっかり意見を言う事で、先生も生徒がどこを理解していないのかを把握することが出来るので、復習が必要か、再度説明がいるのかなど、授業の雰囲気良くなっていくので、私も恥ずかしいからと逃げずに自分の意見を述べていこうと思います。

その他、留学成果や今後の目標を記述してください。

今後の目標は、もっと中国語を勉強して検定取得することです。

日本語教師になるのが、今の目標なので、留学を通して学生目線でも授業が出来るような日本語教師になりたいです。

【出国前の手続きについて】

●事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	言語の面では、あまり対策をしていなかったのですが、台湾の観光のパンフレットをみたのは、とても役に立ちました。場所が分からないより、土地勘があると少し生活のイメージが付きやすくなるため、場所を少しだけでも確認することは役に立つと思います。
--------------------------	--

●ビザについて

ビザの種類	長期居留査証
申請から発行までかかった期間	30 日程度
申請時期	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 ・ <input type="checkbox"/> 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、予防接種や健康診断書の有無など	・健康診断書は、台湾では使わないが東海大学に英語表記のものを提出する

●出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
荷物は全てキャリーケースを利用したので、荷物の発送はしていません。

●出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄りの空港からの移動手段と所要時間など
那覇空港から桃園空港を利用しました。 桃園空港からは、バスやガオティエ(台湾版新幹線)、電車、タクシーがあって、それらを利用して台中に行くことができます。 バスだと、大学の近くのバス停留場に着きます。2 時間から 2 時間半ほど ガオティエは、ガオティエの台中駅まで行って、またバスに乗り換えて大学まで行きます。1 時間半から 2 時間ほど 電車は、台中駅まで行って、バスに乗り換えて大学まで行きます。2 時間から 2 時間半ほど おすすめはバスです。金銭面的にも手頃ですし、停留場を通り過ぎることなく、安心して乗れるからです。でも、車酔いをしやすい人は、少しきついかもしれないです。
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
大学の学生が空港で迎えてくれるサービスがあるのですが、時間帯が区切られていて、東海大学から申請フォームが送られてくるので、申請したら空港で東海大学の看板を持っている人に声をかけてください。留学前の 1 月ぐらいに申請したと思います。

その他出発前に準備しておくべきこと

親に送金してもらう人は、通帳やカードなどをちゃんと渡して、スムーズに送金出来るように準備するといと思います。

【到着直後の手続きについて】

● 現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など

留学生の為のオリエンテーションが、すぐ開かれます。その時に、東海大学の講義の履修登録の仕方や健康診断書の提出があります。日本語が話せる人もいますので、分からないことがあったら声をかけてください。

提供機関は、東海大学が開いてくれます。

参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など

その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など

- ・SIM カードを東海大学で販売しているので、SIM の手続き
- ・ARC の申請
- ・台中の学生は、バスが 10km 圏内を無料で利用することができるので、MRT に申請手続き

【留学先大学の施設環境について】

● 留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について

留学生同士、および現地学生との交流について

日本からの留学生は、とても多くて、語学堂の各クラスに必ず日本人はいます。その次にインドネシアが多いです。留学生通して仲良くなる為には、言語の面で中国語も大事ですが、英語も話せるとより仲良くなれます。

大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか（使用可能か）

PC の有無と使用について ※PC 教室の有無と授業等におけるノート PC の持ち込みの必要性について

大学内の至る所に、給水管があるので、水筒を持参することをおすすめします。

語学堂では、教科書を購入することも出来ますが、パソコンに PDF をおとして使うこともできます。

● 危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。

大学構内は、防犯カメラがあって、大学の入り口には警備員がいるので治安はいいです。大学周辺は日本同様女性 1 人で歩いても大丈夫です。

保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。

沖縄国際大学で提供された保険に入りました。病院を受診した時などに、自分で事後申請をすると保険が適用されます。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	5～6万 円（ <input type="checkbox"/> 月 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 学期 ・ <input type="checkbox"/> 年 ）
	支払い時期と方法	学期ごと、夏・冬休み期間ごとで払う、コンビニで払うことが出来る
滞在先② ※転居した場合	住居種別	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	円（ <input type="checkbox"/> 月 ・ <input type="checkbox"/> 学期 ・ <input type="checkbox"/> 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
<p>メリットは、寮生活をする事が出来る事と、寮の中は男子禁制で寮に入る時も学生カードが必須なので、安全という所です。</p> <p>デメリットは、12 時になると消灯する事と、トイレが土日は掃除が入らないので、汚くなりやすい所です。</p>		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
<p>寮の中のコンビニで買ったり、近くに学食があるのでそこで夕飯を買ったりしました。自炊は、寮の中にキッチンがあるので予約して自炊をしました。食材は自分でスーパーに行って調達して、余った場合などは、冷蔵庫に保管していました。ですが、大学の近くの東海別荘夜市という所で、外食をすることが多かったです。台湾はデリバリーサービスが夜遅くまでやっているのので、uber なども利用しました。</p>		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？		
購入する必要があったものは何ですか？		
日本から持っていきべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
<p>寮で用意されている家具は、ベッド、机、椅子、タンスだけです。なので、日用品などは自分で買う必要がありました。台湾に行く前に寝具は注文していたので、東海大学に着いてすぐオフィスに寝具を取りに行きました。</p> <p>購入する必要があったものは、洗濯物かご、蚊帳、延長コードは絶対で、個人的にあると便利だなと思ったものは、卓上ライトです。机の上は光が入りにくいので、勉強をしたい時に見えにくかったです。また、消灯時間を過ぎると電気を付けることが出来ないのので、消灯時間後にあると便利です。</p> <p>日本から持っていきべきものは、薬です。体調を壊したときに、日本製の薬は安心です。あとは、ムヒです。台湾にもムヒはあるのですが、塗る用のムヒがないので、蚊が多い台湾では重宝しました。水筒も持っていきべきです。学校いたる所にウォーターサーバーがあるので、無料で水を確保出来ます。</p>		
日常の買い物について		
<p>日常の買い物は、東海別荘夜市に安いお店や薬局があるのですぐ買いに行けます。ですが、徒歩だと 15 分程かかる上、坂道になっていて疲れるので、バスや自転車に乗ってカルフル、PX マートに行っていました。距離的には、東海別荘夜市の方が近いのですが、下る方が楽なのでカルフル、PX マートで日常の買い物をしていました。</p> <p>デパートに行きたい時もバス一本でいけるので交通面はとても便利でした。</p>		
現地での移動手段について		
<p>バス：台中は申請をすると、学生はバスが 10 キロ圏内無料になるので絶対申請した方がいいです。</p> <p>タクシー：uber を利用すると価格がきちんと表示されているので、高い値段を取られる心配がないです。</p> <p>自転車：台湾には Ubike という自転車があって、アプリを取得すると誰でも乗ることが出来ます。Ubike 専用のチャージスポットが沢山あるので少し距離のある移動の時などによく利用しました。</p>		

休暇中の過ごし方について

休暇は、友達と台中の美味しいカフェやご飯屋さん、夜市に行くのが定番の過ごし方で、日帰りで旅行にも行ったりしました。
台中は、台湾の真ん中部分にあるので、北にも南にも両方アクセスしやすい立地です。

【現地での授業について】

● 授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
<p>沖縄国際大学と同様に、登録調整期間があるので登録する時は、困らないです。ですが、登録を消したい時は、担当の授業の先生のサインをもらって、紙を提出しないとイケないので、少し面倒くさいです。</p>	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
<p>私は、授業を多くとらなかったのであまり分からないのですが、沖縄国際大学より課題が多いという印象です。毎回課題がありました。</p>	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
<p>東海大学の DJ クラブに見学に行ったりしました。他にも、沢山のクラブがあります。クッキングクラブは、毎週金曜日にインスタで参加する人を募集しているので、参加したい時に参加することが出来ます。</p> <p>語学堂の課外活動が沢山あるので、自分で随時確認して申請してください。色々な活動があります。時期によってもある活動が異なります。</p>	

● 留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
The Real Taiwan : History,Culture and Products 「前学期」「学部授業」			
Translation-from Chinese into Japanese 「後学期」「学部授業」			
CLC「前学期」「学部授業」			
CLC「夏期学期」「学部授業」			
CLC「後学期」「語学学校」			

- ・ 履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・ 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
2月13日	現地到着
2月17日	前学期開始
6月13日	前学期終了
6月23日	夏期学期開始
8月31日	夏期学期終了
9月8日	後学期開始
1月5日	後学期終了
1月12日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		約 6 万	円		
B. 海外旅行保険（1年）		約 14 万	円		
C. 授業料（1年） ※冲国大に納める授業料は除く		7 万	円		
D. 教材費（1年）		約 6000	円		
E. 生活費 (月額/年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	?	円（月額）	約 10 万	円（年額）
	食費	約 5 万	円（月額）	約 60 万	円（年額）
	交通費	0	円（月額）	0	円（年額）
	携帯代金	?	円（月額）	SIM の分約 5000	円（年額）
	交際費（娯楽代）	約 3 万	円（月額）	約 36 万	円（年額）
	その他		円（月額）		円（年額）
生活費合計		約 8 万	円（月額）	約 107 万	円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)				約 135 万	円

● 留学費用について

費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など

現金は、台湾の ATM を利用して引き出していました。大型のショップやコンビニは、クレジット決済ができるのでクレジットカードを利用していました。Uber や ubike もクレジットカードと連携すると便利です。日本からの送金は、親に通帳を預けて送金してもらっていました。

留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。

台湾は物価が安いと私は思っていたので、台湾で暮らしてみると、意外と日本と物価は変わらないことに衝撃を受けました。また、外食でも台湾フードは安いのですが、日本料理やイタリアン料理などはそこまで安くありません。また、友達と遊ぶとなると外食は必須になってくると思います。友達と過ごす時間が多くなると出費は増えていきます。せっかく留学に来ているので、沢山の場所に行って、色々な経験をしてほしいです。私のおすすめの節約方法を紹介します。

- ・お昼は学食のバイキングを利用して節約する。
- ・水筒を持参して飲み物代を節約する。
- ・薬局に行った時にクーポンが出てくるのでクーポンを利用する。
- ・薬局のレジの後ろに期間限定で安くなっている商品があるので、欲しい商品がある時は利用する。
- ・ATM は頻繁に利用しない。手数料がかかるからです。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	東海大学	
留学期間	2025年2月14日～2026年1月12日	
所属学部・学科	総合文化学部・日本文化学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	3年次	※春学期派遣の場合は4月時点の年次

本文 (3,000 字以上)

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

異国の地に留学に行くと言う事は、とても怖いことだと思います。ですが、台湾留学への挑戦をした自分に「よくやった」と言えるほどとても充実していました。台湾留学で、出会ったすべての人にありがとうと言いたいです。

まず台湾に着くと、やはり1番困った事は食べ物でした。私は八角の味が苦手で、最初は、どうにか日本の味の食べ物を食べていました。

マクドナルドもよく行っていました。

でも安心してください。そんな私でも台湾留学が終わる頃には、八角の味にも慣れ、臭豆腐も食べられるほど、台湾のご飯に慣れてきます。何ならおいしいとも感じます。

なので、食べ物のことで心配しているのであれば大丈夫です。食べられるようになります。また、せっかく台湾に来ているなら、ぜひ日本にはない食べ物を食べてみて欲しいです。

まず、軽く台湾に着いてからの流れを説明します。最初に台湾に着いたら、東海大学のピックアップサービスがあります。日本にいる時から、自分のバディーと連絡を取れるので、分からないことがあったら、バディーに質問することができます。私は運良くバディーがピックアップサービスを担当していたので、台湾に着いてからバディーとLINEで連絡を取っていました。予定の時間よりも少し、ピックアップサービスが遅れていたため、空港に約1時間ほどいました。その後は、東海大学までのバスに乗ります。東海大学に着いて、事前に注文していた布団などを受け取って、寮の部屋を案内されます。その後から自由時間になるので、荷解きをします。日本から事前にティッシュなどを持っていくと便利です。ベッドの上やタンスの中、机などを軽く拭からです。オリエンテーションの案内があるので、参加して授業や東海大学の建物などの説明を受けます。東海大学の講義の登録をして、確定されると講義を受けることができます。仕組みは日本の大学と変わりません。登録を取り消す時が少し不便です。沖縄国際大学だと、ネットで自分で取り消しをすることができますが、東海大学は、履修登録表をコピーして、取り消したい講義の先生にサインをもらいに行かないといけません。もし体育などを受講したい場合、運動着を持参することをお勧めします。シューズもあれば、室内競技を受けることができます。ここでも、分からないことがあれば、留学生専用のアドバイザーがいるので、その方にLINEやGmailを使って質問してください。返信もとても早く、丁寧に対応してくれます。

東海大学の講義以外に、CLCと言う語学堂があります。そこでは9時10分から12時まで中国語を学びます。クラスは事前に受けたテストによって割り振られます。もしもっと上のクラスに行きたい場合は、先生などに相談すると移動することが可能です。ですが、移動できるのは1度だけです。私は自分のレベルよりも高いクラスを受けました。やはり最初は理解をするのがとても大変でしたが、毎日くらいついて、最終的には、自分の意見を上手に言うことができないのですが、話している内容はわかるようになりました。遠慮せず、自分のレベルよりも高いクラスを受けてみてください。意外とうまくいきます。また成長もできます。

次に寮での生活についてです。寮生活を日本でしたことがなかったので、初めての寮生活でした。自分の時間が欲しいなあと思う時もありますが、ルームメイトと仲良くなると、寮生活はとても楽しくなります。一緒にご飯を食べたり、たくさん話をしたりして楽しい時間を過ごすことができます。人間関係を良くするためには、気遣いの心やルールを決めるなどし

て、みんなが過ごしやすい空間を作ることが大事だと思います。寮は 12 時になると消灯します。12 時以降はドライヤーを使わないようにしていました。朝は 6 時に電気がつきます。少し窮屈な生活に感じるかもしれませんが、慣れると窮屈に感じません。寝具について、もし日本で使っているベッドがふかふかな人はケチらずに、1 番高いプランを選ぶのを勧めます。私は B プランでも大丈夫だなと思ったのですが、友達が 1 番良いプランはふかふかなベッドを使用してたのですが、もっと寝やすかったです。私が台湾留学でこれがあると便利だなと思って、買わなかったのを後悔したことがあります。それはシャワーを浴びるときのバックです。シャワールームも他の人と共同で、あまりスペースがありません。なので、シャンプーやリンスを入れるバッグは、プラスチックのものを利用して、濡れても大丈夫なようにすると持ち運びが便利です。またプラスチックだと、そのまま放置しても乾燥するので、拭く手間が省けます。私はビニール製の穴が空いていない、カバンを利用していたので、お風呂が終わるたびにシャンプーなどを 1 つ 1 つ拭いていました。なので、プラスチックのバッグがあると、寮の部屋から持ち運んで、シャワーを浴びて、そのまま寮の部屋に持って帰ることができ、とても便利になります。また、着替えの洋服なども持っていかないといけないので、濡れても大丈夫なバッグや袋なども準備することをお勧めします。いろんな人がシャワーを使うので、水虫などいろんなことを考慮して、スリッパを履いたままシャワーを浴びます。濡れたままのスリッパで行動するのが、嫌な人は 2 足草履を持つことをお勧めします。

寮の中には、キッチンや冷蔵庫があるので、料理をすることができます。ですが、キッチンは予約制で予約がないと使用することができません。冷蔵庫もいろんな人が利用するので、あまりスペースがありません。なので私は、あまり冷蔵庫を使用せず、キッチンを利用する場合は、1 回ですべての食材を使用し切りました。他にも、寮にはセブンイレブンがあるので、セブンイレブンで買うことも多くありました。セブンイレブンの横に、セルフで作れるラーメンがあるので、そこも利用していました。ですが、夏休みなどになるとセブンイレブンが開まるので、少し歩いて夜市に行くこと必要が出てきます。その場合は、買い溜めをすると便利です。冷蔵庫を利用する人も減るので、スペースはあります。

次に、台湾での洋服事情についてです。やはり車もないので、たくさんの距離を歩かないといけません。歩きやすい靴を持ってくることをお勧めします。それ以外にも、スポーツをやる機会があると思うので、運動靴などもあると良いでしょう。郊外の活動なので、靴が汚れる場合があります。（ですが、靴は荷物になるので、私は留学中に履きつづす靴と、日本に持って帰る靴の両方を持っていきました。）洋服は、運動用の洋服とかもあるといいと思います。東海大学内にあるジムに行く予定だったら必要です。台湾は急に気温が変わるので、カーディガンなど薄手の長袖があると便利です。冬は厚手のジャケット 1 枚と重ね着をすれば大丈夫です。もし洋服で困ったことがあったとしても、台湾で買うことができるので、あまり心配しなくてもいいと思います。スポーツ系の洋服以外にも、キレイめの洋服も持っていくと良いでしょう。授業によっては、きれいな洋服で参加する必要がある講義を履修していた友達がいたので、もしものために準備しといても良いと思います。私は必要ではありませんでした。

あまり心配する事はありません。台湾での生活はとても楽しいですし、日本製品もたくさんあるので、必要なものがあれば買うことができます。より台湾留学を充実させたいなら、恥ずかしがらずに、いろんな人とコミュニケーションを取ることを心がけてみてください。本当にみんないい人です。私は、体調は崩してしまったりしたのですが、挑戦した 1 年間は一生の思い出です。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	東海大学	
留学期間	2025年02月13日～2026年02月07日	
所属学部・学科	総合文化学部日本文化学科	※沖縄国際大学での所属学科
留学出発時の年次	3年次	※春出発の場合は4月時点の学年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	大学の中国語Ⅳまで受講 toeflA2 レベル（語学学校）
帰国時	toeflB2（語学学校）

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？ 所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。
文法自体は大学で習っていたものが多かったですが、話す、聞く能力が上がったのをすごく感じます。始めの頃は、勉強してから行ったので簡単な要求を自ら話すことは出来たけどその返答を聞き取ることができず、会話がとても難しかったです。まだネイティブとスラスラ話せるというレベルには達していませんが、旅行や日常会話であれば困ることが少なくなったなと感じるようになりました。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。
もともと持っていた目標は、中国語で行われている学部の授業を取ること、ネイティブの友達を作ること、いろんな国の人と中国語で会話することです。中国語での講義やネイティブの友達ができたとそうですが、中国語を使って他の国の人と話すのはしゃべるのが苦手な私にとって間違いを恐れずに話せるようになったいい機会だったと思います。お互いに学んでいる言語だからあまり遠慮なくていいし、お互いに間違えるからだんだん間違いばかりを気にすることがなくなりました。
その他、留学成果や今後の目標を記述してください。
語学力を磨くことが出来ましたが、一番の成果は自分の常識が当たり前ではないことを知れたことだと思います。沖縄と県外の文化についても授業の文化紹介などを通してより知れたことも多かったし、皆それぞれの常識を持っていて時にはそれがぶつかることがあるけど話し合いなどで折り合いをつけていく必要があることを感じました。 今後は留学に行きたい人の背中を押したいです。やはり、留学は当たり前に行っている訳ではなく、想像がつかないところも沢山あると思うのでその手助けがしたいです。

【出国前の手続きについて】

● 事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	大学について先生と確認しました。 ホームページの中に翻訳できない部分があったため
--------------------------	---

● ビザについて

ビザの種類	シングル（台湾到着後大学でマルチに変更 1000 元）
申請から発行までかかった期間	7 日程度
申請時期	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、予防接種や 健康診断書の有無など	保険の証明書のコピーは何枚か持っておくこと 渡航後のビザ申請と病院受診で使うので最低 2 枚と予備があったら安心だと思う

● 出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
出国時に全部持っていきました。キャリー 2 個、リュック 1 個、手提げ 1 個ピックアップのバスが来てくれるし、寮の前まで送り届けてくれるので大荷物でも大丈夫でした。 親が台湾を訪れた時に日本の食べ物や追加の洋服を持ってきて貰いました。

● 出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
那覇空港から桃園空港への飛行機に乗りました。 大学が指定した日であれば寮まで送ってもらえます。
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
メールでピックアップサービスの申し込みの案内が来ます。 出国の約 1 ヶ月前くらいまでに申し込む必要があります。ピックアップサービスの日が 2 ヶ月前くらいにしかわからなかったので結構こまめに確認が必要だと思います。
その他出発前に準備しておくべきこと
到着した日に食事会（ウェルカムパーティー）や、買い物する場所を教えてもらえるみたいですが、現地時間 17 時（日本時間 18 時）なのでできれば朝出発の便に乗ることをおすすめします。 また荷物についてですが、郵送にお金がかかるので台湾に家族が来るときに持ってきてもらうか、キャリーケースを 2 個で台湾に来るのもいいかなと思います。キャリーケース 2 つの場合は大と中サイズで 2 つがまとめられると寮生活でも快適です。 旅行を考えている人は大きめのリュックを持ってくることをおすすめします。台湾内であればリュックで旅行する子が多いので友達と旅行した時はリュックの方が便利でした。

【到着直後の手続きについて】

● 現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
ついてすぐにオリエンテーションがあり、授業の取り方、保険や今後必要な手続き（ビザ、寮費等の支払い）等の説明を英語で受けました。OIR の職員が説明してくれました。その時学生アシスタントで日本語学科の生徒がおりサポートしてくれました。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
なし
その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など
ビザの申請 保険の証明書と顔写真を提出し、申請自体は OIR にやって貰いました 交通系カードの学生申請 Web 申請を先にしたあと近くの窓口で申請バディさんに手伝って貰いました 携帯の sim は OIR で買うのが楽だと思います。

【留学先大学の施設環境について】

● 留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について 留学生同士、および現地学生との交流について
留学生の多くはアジア出身で特にベトナムやインドネシアから来ている華僑の子が多い。交換留学生だけで見ると日本人が一番多いように感じるがヨーロッパやアメリカ、南米から来る人も多い。台湾の大学の学期開始時期に合わせて9月に来る留学生が多い。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか（使用可能か） PCの有無と使用について ※PC 教室の有無と授業等におけるノート PC の持ち込みの必要性について
PC やコピー機などは交換留学生が使えなかったので自分の PC やコンビニのコピー機を使っていた。語学学校では PC よりも書き込みがしやすいタブレットの方が使い勝手がよかったように思う。

● 危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
大学周辺も含めスリなど犯罪面においては危険性は少ないと思いますが、バイクが非常に多く細い路地や歩道でもバイクを走らせてるのをよく見かけます。また、禁止されていますが、路上喫煙する人がすごく多いです。大学構内では喫煙を厳しく取り締まっており、喫煙している人を見かけたことはありません。
保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。
留学先での保険は沖縄国際大学で買ったものでカバーできたので入っていません。6ヶ月たつと国民健康保険にはいることができますが、大学の保険に入っていれば加入する必要はないと思います。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	17万 円（ <input type="checkbox"/> 月 ・ <input type="checkbox"/> 学期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 年 ）
	支払い時期と方法	コンビニで現金支払い
滞在先② ※転居した場合	住居種別	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	円（ <input type="checkbox"/> 月 ・ <input type="checkbox"/> 学期 ・ <input type="checkbox"/> 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
<p>メリット 安い、大学内なので教室まで近い、留学生は同じ部屋になりやすいので友達が作りやすい</p> <p>デメリット 古い、せまい、自分で部屋の希望が出せない、毎学期引っ越しがあった、4人1部屋なので生活リズムが合わない人がいると大変</p>		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
<p>大学外に食べに行くか、早めの時間なら校内の食堂に行っていた</p> <p>自炊は共同のキッチンを予約すれば可能</p> <p>デリバリーがすごく便利でいろんなお店が出店している</p> <p>寮内にコンビニがありすごく便利だが長期休暇にはしまる、大学外のコンビニは歩いて約 20 分</p>		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？		
購入する必要があったものは何ですか？		
日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
<p>勉強机、椅子、クローゼット、南京錠がかけられる収納</p> <p>卓上ライト、クローゼットのタオルや寝巻きの収納などがあると便利だった</p>		
日常の買い物について		
PX マート（食べ物） カルフル（雑貨） 東海夜市の 10 元ショップ（日用品、雑貨）		
現地での移動手段について		
<p>市内バス</p> <p>現地に行って約 2 週間した頃に学生の交通カードの申請をすると 10 キロ無料になります。（台中市内）</p> <p>また電話番号を持っていたら自転車を 30 分無料で借りることができます。私は利用していませんが学内外いろんな所にあるので自転車に乗れる人には便利だと思います。</p>		
休暇中の過ごし方について		
<p>夏期講座を受講していました。夏休み結構長いのでとってなかったらすごく暇だったと思います。</p> <p>冬休みは講座がないので旅行に行ったり友達と遊んでいました。</p>		

【現地での授業について】

● 授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
授業の登録で困ったことはありませんか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
<p>授業の履修取り消しがオンラインではなく教授にサインを貰ったりと大変だったのでしっかり考えて取ることをおすすめします。</p> <p>また、集中講座をとったのですがシラバスにいつ始まるか書いておらず、授業初日に誰もいなくて驚きました。教授へ連絡</p>	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
<p>語学学校のコースが週5だったので中国語が伸びるのを2、3ヶ月で感じました。上級クラス以外は会話がメインという感じでとにかく話して聞いてという授業方針でした。</p> <p>学部の授業は課題が評価されることが多かったです</p>	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
<p>ニチゴカイロウというクラブにたまに参加していました。日本語を学んでいる台湾人と日本人の交流会で友達作りがしやすいと思います。</p> <p>このクラブでは主に日本語を使い言葉遊びやゲームなどを通じた交流会が行われており、飲み物や軽食も用意されていました。</p>	

● 留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
Translation-from Chinese into Japanese (II)	2		
The Real Taiwan: History,Products	2		
TaiwaneseTea Culture and Tea Ceremony Aesthetics	3		
Creating Mandarin-Japanese Bilingual Magazine Articles	3		
Experience and Reflection in the Gourmet Foodscape	3		

- 履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
2月 13日	現地到着
2月 14日	オリエンテーション
2月 24日	春学期スタート
4月 3日	6日まで清明節で休暇
4月 26日	語学学校の郊外学習
5月 30日	6月1日まで端午節で休暇 ドラゴンボートなどのイベント開催
6月 13日	春学期終了
7月 7日	夏期講座開始
7月 26日	食農体験 郊外学習
8月 29日	夏期講座終了
9月 8日	秋学期スタート
10月 21日	語学学校 郊外学習
11月 29日	語学学校 京劇鑑賞
12月 24日	クリスマスマーケット
12月 26日	秋学期終了
2月 12日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		56,750	円		
B. 海外旅行保険（1年）		144,020	円		
C. 授業料（1年） ※冲国大に納める授業料は除く		80,636	円		
D. 教材費（1年）		15,000	円		
E. 生活費 (月額/年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	14,000	円（月額）	170,000	円（年額）
	食費	50,000	円（月額）	600,000	円（年額）
	交通費	3,000	円（月額）	36,000	円（年額）
	携帯代金	1,540	円（月額）	18,500	円（年額）
	交際費（娯楽代）	15,000	円（月額）	180,000	円（年額）
	その他	10,000	円（月額）	120,000	円（年額）
生活費合計		93,540	円（月額）	873,000	円（年額）
F. 留学生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		1,169,406	円		

- 留学費用について

費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
<p>基本的には日本の銀行から銀行のデビットカードを使って引き出して現金は使っていません。手数料が毎回かかるので一回に多い金額を引き出すのと、基本的にはクレジットの方が手数料が安いのでクレジットカードを使っていました。</p> <p>出発時に余裕があれば現金を持っていった方がいいと思います。持ちすぎも怖いですが、手数料などを抑えたかったので現金で 15 万円持って行きました。空港で換金するのも良いですが、銀行で換金するのがいいとネットで見たので台中市で外貨為替をやっている銀行を調べ両替しました。</p>
<p>留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。</p> <p>クレジットカードの手数料は発行元や VISA、MasterCard などのブランドによって異なります。もう少し調べておけばと後悔があるので皆さんは気を付けてください。</p>

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	東海大学	
留学期間	2025年2月13日～2026年2月7日	
所属学部・学科	総合文化学部日本文化学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	3年次	※春学期派遣の場合は4月時点の年次

本文（3,000字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

1. 授業を通して学んだこと

東海大学での授業開始にあたって、私は事前テストの提出忘れという事務的なミスにより、当初は自分の実力より低いクラスに配属されるという失敗を経験しました。最終的に希望のクラスへ変更できましたが、留学は渡航前の準備段階から始まっていることを痛感しました。

語学学校の授業では、日本人以外の国籍の学生と学ぶことになりました。当初は間違いを恥じる気持ちがあり、積極的な発言ができませんでしたが、文法が不完全でも自信を持って発言するクラスメイトの姿や間違ってもそれを訂正しながら一緒に考えてくれる先生を見て、自身の姿勢を改める必要があると感じました。その後は、不明点をその場で質問し、作文の添削を自ら依頼するなど、受動的だった学習スタイルを能動的なものへと転換させることができました。

特に、6月に受講した夏季集中講座「台湾茶の文化と歴史」は、日本人が私一人という環境であり、語学学校で習得した基本的なフレーズだけでは対応できない専門的な場面が多くありました。しかし、この環境に身を置いたことで、断片的な情報から全体の状況を推察する能力が養われ、結果的にリスニング力の向上に繋がりました。また、秋学期には学部の講義にも挑戦しました。ネイティブの話すスピードは非常に速く、理解度は4割程度に留まることもありましたが、周囲の学生に積極的に質問を行うことで接点を作り、実社会で通用するコミュニケーション能力を養うことができました。

2. 人間関係を通して

私は留学の目的の一つに、多国籍なネットワークの構築を掲げていました。語学学校のコミュニティに留まらず、学内のイベントやフィールドワークに積極的に参加することで、台湾人学生や正規留学生など、多様な背景を持つ知人を得ることができました。

10月に実施した高雄への旅行では、日本人不在の多国籍メンバーで行動しました。共通言語が中国語しかない状況下で、一日中コミュニケーションを取り続けたことは、語学力の向上だけでなく、異文化理解を深める貴重な機会となりました。それぞれの国の文化や政治的背景について意見を交わす中で、教科書的な知識ではない「生の情報」を得ることができました。

また、11月に家族が台湾を訪れた際、私は全行程の通訳およびガイドを担いました。家族という身近な存在の多様なニーズを調整し、現地で発生するトラブルを自らの中国語で解決する経験は、これまでの「助けられる立場」から「主体的に動く立場」への転換点となりました。

ルームシェアにおいても、当初は生活習慣の相違に戸惑いましたが、自分の基準を押し付けるのではなく、相手の文化を一つの事象として受け入れ、対話によってルールを構築するプロセスの重要性を学びました。こうした人間関係の構築は、単なる語学学習を超えた、社会的な適応能力の向上に直結したと感じています。

3. 食生活について

台湾での食生活は基本的に外食となります。大学付近の「東別（ドンビエ）」エリアには安価で良質な飲食店が多く、生活に困ることはありませんでした。特にルーローハンや蛋餅（ダンピン）などの現地食は非常に口に合いました。がしかし、台湾の肉料理には香辛料が欠かせません。苦手な人は少し大変かもしれませんが、そんなときは肉料理以外にチャレンジしてみると良いかもしれません。台湾にはビーガン向けや香辛料が少ない料理もたくさんあります。ぜひチャレンジしてみてください。

食生活における注意点として、まず栄養バランスの管理が挙げられます。台湾の食事は野菜不足に陥りやすいため、意識的に野菜炒めを単品注文するなどの工夫が必要です。日本からビタミン剤などを持ってくるのもいいと思います。また、夏休み期間中は学内食堂が閉鎖されるため、学外への買い出しが必要となりますが、キャンパスが広大で坂道が多いため、移動に多大な労力を要します。私は友人から譲り受けた電気鍋を活用して自炊を行うことで、この問題を解決すると同時に、他の学生と料理を通じた交流を行うことができました。

4. 寮生活について

私が滞在した寮は基本的に4人部屋であり、多国籍な学生との共同生活でした。初めての寮生活において直面した最大の問題は、生活環境の調整です。具体的には、東海大学特有の自然環境による虫の被害、特に蚊の問題が深刻でした。虫除け剤だけでは対応できず、物理的な防護手段である「蚊帳」の設置が不可欠であることを学びました。準備が遅れた初期段階では睡眠の質が著しく低下したため、これから留学する学生は渡航後直ちに準備すべきです。また、台湾で多くみられる蚊は日本のと少し違い痒みが強いです。その上痒み止めも効かないことがあります。少し強めの痒み止めを買った方がいいと思います。

また、寮の移動やリフォームに伴う騒音、エレベーターのない建物での荷物運搬など、物理的な負荷も多くありました。特にエアコンの使用ルールや清掃、就寝時間の相違など、共同生活ならではの摩擦は日常的に発生します。私は当初、不満を溜め込む傾向にありましたが、それでは解決に至らないことを痛感しました。問題が発生した際は、ルームメイトや寮の事務所、国際交流センターなどに早急に相談し、適切な対処を求めるべきです。住環境のストレスは学習効率に直結するため、自ら環境を改善する行動力が求められます。

5. 留学を振り返って

一年間の留学生生活を総括すると、語学力の向上以上に、不測の事態に対する「自己解決能力」が飛躍的に高まったと感じています。当初は中国語が聞き取れないことに強い不安を感じていましたが、日本人が一人もない旅行や学部の講義といった高負荷な環境を経験したことで、現在は「何が分からないのかを明確にし、解決策を講じる」という姿勢が身につきました。1月に一人で実施した南部旅行では、トラブルが発生しても冷静に現地の人に訪ね、自力で問題を解決することができました。以前の消極的だった自分を振り返ると、大きな変容を遂げたと言えます。

語学面においては、上達すればするほどネイティブとの壁を実感するようになりましたが、それは自身のレベルが、自身の欠点を客観的に把握できる段階に達した証拠であると肯定的に捉えています。この一年で得た「多角的な視点」と「主体的な行動力」は、今後の大学生活および社会生活における大きなアドバンテージになると確信しています。私の留学を支えてくださった大学関係者、家族、現地の友人に深く感謝し、この経験を無駄にすることなく今後の成長に繋げていく所存です。また、留学に行きたい方々の支えや後押しに少しでもなればと心から思っています。

6. 留学を考えている人へ

何をやるにしても調べすぎということはないと思います。気になることがあればたくさん調べてみてください。現地でどうやって現金を引き出すのかとか、病院はどうやって行けばいいのか、保険はそれで本当にいいのか等調べても終わりは来ません。私自身たくさん調べたと思っていたし、経験者の方に話を聞きました。それでも実際現地でもっと調べておけばよかったと思うことが多々ありました。それと同時に調べていたからこそ冷静に対処できた場面もたくさんあります。その上、留学について調べていくと不安も少なくなり、留学先の自分について考えることで留学へ挑戦するためのモチベーションにも繋がりました。少しでも留学に気がなっているのであれば、まずは行きたい国や行きたい学校について調べてみてください。下記は私が調べておけばよかった、調べていてよかったことです。

・クレジットカードや、現金の引き出し方について

留学中には大きいお金が動くので海外手数料の少ない銀行や、キャッシュバックがあるカードなどを調べてみてください

・保険について

保険でどこまでカバーされているのか、足りないと思う面はないか

・病院の受診について

提携病院についてや受診までの流れを事前に調べておいた方が万が一の時に焦りません

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	韓南大学	
留学期間	2025年2月21日～2025年12月23日	
所属学部・学科	英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属学科
留学出発時の年次	4	※春出発の場合は4月時点の学年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	TOPIK II 6級
帰国時	TOPIK II 6級

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

<p>留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？ 所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。</p>
<p>韓国語会話でよく使われる細かな表現や授業での韓国語の言い回し、街で見かける看板での表現方法、注意書きなど、沖縄で授業やコンテンツを通してみていたものとは違う微妙な違いに関して知り、表現方法や語彙が増えました。 特に読む力がぐんと上がったと感じます。</p>
<p>語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。</p>
<p>私は英語学習と韓国の就職活動について知ることも目標としていました。 韓国で英語の資格勉強をしたり、英語の授業を受けたりしました。英語の聞き取りや発音、翻訳に関して学ぶことができ、資格も最終的には最高点数を韓国で取ることができました。 ソウルで開催された、観光関連の就職博覧会に参加し、韓国での就活事情を知ることができました。 就職活動を通して、博覧会自体は日本と変わりはありませんでしたが、会社に応募するための条件が難しいと感じました。</p>
<p>その他、留学成果や今後の目標を記述してください。</p>
<p>全体的に韓国語で成長した部分は、韓国語を読むことです。すべて韓国語なので、読みとるスピードが速くなったと感じています。 将来的には TOPIK 以外の韓国語の試験にも挑戦してみたいと思っています。</p>

【出国前の手続きについて】

● 事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	韓国語の表現や韓国の文化なども事前に知っておくことで役に立ちましたが、実際に留学に行っていた学生からいろいろなことを聞くことができたのが事前に準備しておくためにすごく役に立ちました。
--------------------------	---

● ビザについて

ビザの種類	D-2
申請から発行までかかった期間	3週間程度（民団の代理申請）
申請時期	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 ・ <input type="checkbox"/> 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、予防接種や健康診断書の有無など	沖縄県にある在日本大韓民国民団沖縄県地方本部というところに電話で代理申請が可能か確認して、1月初めに申請しに行き、一月後半には家にビザが郵送されてきました。 <u>同時にパスポートも預けることになるのと、申請代 5000 円（2025 年 1 月）とレターパックの準備が必要です。（電話で連絡時に案内有）</u>

● 出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
4 月頃に沖縄から一回、8 月頃に一回、12 月に韓国から沖縄へ一回荷物を送りました。 大学の敷地内に郵便局があるのでそこまで荷物を持っていき発送しました。

● 出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
那覇空港から仁川空港まで直行便でした。
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
出迎えサービス有。
その他出発前に準備しておくべきこと
食料類や生活必需品を買って持って行きました。 韓南大学はレンジと冷蔵庫しかなくご飯が大変でしたが、途中から送られてきた調味料でレンジでできる料理をするようになり、最初から持ってこればよかったと後悔しました。レンジでの簡単な料理をしたいと考えている方は、日本から調味料を持っていくことをお勧めします。

【到着直後の手続きについて】

● 現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など

入国した次の日に日本人留学生専用のオリエンテーションがあり、軽食が出されて、外国人登録証や授業登録についての説明を受けました。そこで初めて前期のバディーと会いました。

参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など

なし。

その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など

入国後すぐに行った申請は、授業の申請と外国人登録証の申請でした。必要事項を書類に記入して、役所に指紋を登録しに行きました。

【留学先大学の施設環境について】

● 留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について

留学生同士、および現地学生との交流について

日本人留学生は約 20 名で、ほかの国と比べて一番割合が多かったと思います。中国、台湾、タイなどからの留学生もいましたが、住んでる階が違いため、寮ではあまり関わる機会はありませんでした。

大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか（使用可能か）

PCの有無と使用について ※PC 教室の有無と授業等におけるノート PC の持ち込みの必要性について

大学の PC 教室に入ったことがないですが、図書館に PC があり、留学生でも使えたと思います。

カフェが 3 か所ほど、パン屋もありました。大きな自習室があり、場所によっては PC も使えるのでよく利用していました。

PC は必ず持って行った方がいいと思います。

ほとんどの学生が、PC とタブレットを持っていました。

私はタブレットは持っていなかったのですが、特に不便なことはなかったです。ですがノートパソコンは必ず持って行った方がいいと思います。

● 危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。

学校付近は学生街のため、栄えており、人通りもあるので危険ではないと思います。

保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。

沖縄国際大学の方から案内された海外保険に加入しました。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	合計 190 万 \yen （ <input type="checkbox"/> 月 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 学期 ・ <input type="checkbox"/> 年 ）
	支払い時期と方法	3 月中旬 70 万 \yen 、6 月後半 50 万 \yen 、9 月前半 70 万 \yen 、銀行振り込み
滞在先② ※転居した場合	住居種別	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	円（ <input type="checkbox"/> 月 ・ <input type="checkbox"/> 学期 ・ <input type="checkbox"/> 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
<p>メリットは学校から近いことです。学校の敷地のすぐ横にあります。</p> <p>デメリットはコンロが使えないところです。レンジ、冷蔵庫、お湯しかなかったのでレンチンご飯やレトルトスープのようなものを食べることになります。</p>		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
<p>基本的に寮ではレンチンご飯、みそ汁、スープ、即席ラーメンなどを食べていました。</p> <p>後半から電子レンジを活用しスーパーやインターネットで野菜や肉を買って、調味料で簡単な料理をすることがありました。</p> <p>学食が学校にあり、たまに利用していました。</p>		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？		
購入する必要があったものは何ですか？		
日本から持っていきべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
<p>ベッド、机、服を収納できるスペース、大きめの靴箱があり、トイレ、お風呂は別でした。</p> <p>徒歩 5 分くらいのところに新しくダイソーができたので日用品はそこで購入していました。</p> <p>日本から持っていきべきものは、食料品と生理用品、調味料を持っていくと料理できるものが増えます。</p>		
日常の買い物について		
日用品はダイソーで購入、食料品は最初のころは徒歩 2 分くらいのスーパーで買い物していましたが、徒歩 5 分くらい離れたスーパーやネット、バスで 15 分くらいにある大型スーパーなどで安く購入できるところで買うようにしていました。		
現地での移動手段について		
基本的にバス移動でした。時間がないときなどはタクシーを使っていました。日本よりも交通費が安くすごく便利でした。		
休暇中の過ごし方について		
<p>夏休みは旅行に行ったり、勉強したり、運動したりしていました。</p> <p>夏休みは思っていたより時間が空くので、夏休みにやりたいことをたくさんやるのを勧めます。</p>		

【現地での授業について】

● 授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
告知されている授業登録の日に授業登録ができなく、予備日になって空いた授業を取るようになったので、少し混乱しました。 日本人担当の先生にお願いして、授業を登録させていただくことができます。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
グループワークなど意見を求められる授業が多くレベルが高いと思います。想像力や意見を持ちながら授業に参加することが求められます。 対面形式で、相対評価だったと思います。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
旅行サークルに入っていましたが、日程調節ができず一度も旅行に行けませんでした。	

● 留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
Digital Comunication and Marketing（1 学期）	2		
グローバル英語 I（1 学期）	2		
シネマ英語練習（1 学期）	3		
映画で学ぶ FUNFUN な英語（1 学期）	3		
韓国学特講（1 学期）	3	アジア研究	2
発音練習と英語聞き取り（2 学期）	3		
翻訳の原理と実態（2 学期）	3		
キャリアデザイン（特殊聴講生）（2 学期）			

- ・ 履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・ 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
2月 21日	現地到着
2月 28日	日本人オリエンテーション、1学期バディーと顔合わせ
3月 4日	一学期開始
3月 18日	総学生会
4月 16日	一学期中間試験期間 7日間
5月 19日	大学祭 3日間
6月 18日	一学期期末試験期間 7日間
6月 24日	一学期終了
8月後半	オリエンテーション、2学期バディーと顔合わせ
9月 1日	二学期開始
10月 20日	二学期中間試験期間 5日間
12月 16日	二学期期末試験期間 7日間
12月 23日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額		
A. 渡航費（往復）		55000	円	
B. 海外旅行保険（1年）		145000	円	
C. 授業料（1年） ※冲国大に納める授業料は除く			円	
D. 教材費（1年）		4000	円	
E. 生活費 (月額/年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）		円（月額）	190000 円（年額）
	食費	30000	円（月額）	300000 円（年額）
	交通費	2500	円（月額）	25000 円（年額）
	携帯代金	2700	円（月額）	27000 円（年額）
	交際費（娯楽代）	30000	円（月額）	300000 円（年額）
	その他	30000	円（月額）	300000 円（年額）
	生活費合計	95200	円（月額）	952000 円（年額）
F. 留学生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		1,156,000	円	

● 留学費用について

<p>費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など</p> <p>韓国で作ったカードと楽天カードを使っていました。 WISE というアプリを使って送金していました。</p>
<p>留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。</p> <p>上の生活に関する費用はあくまでも目安として参考にしてください。 たくさん資金を準備して、夏休みなどにたくさん遊べるようにすることをお勧めします。</p>

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	韓南大学	
留学期間	2025年2月21日～2025年12月23日	
所属学部・学科	総合文化学部・英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	4	※春学期派遣の場合は4月時点の年次

本文 (3,000 字以上)

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

今回韓国に留学に行き、とてもいろいろな経験をすることができました。

留学を少しでも迷っている方は、絶対に行くことをお勧めします。韓国でない、ほかの国での留学も、おすすめします。授業の勉強をしたり、資格の勉強をしたり、会いたかったアーティストに会いに行ったり、これまでの人生の中で一番濃い10か月間を過ごすことができました。

以下より、留学を決めたときから帰国後まで私がどう過ごしてきたかをまとめました。

・留学を決めた経緯、時期

私は、大学3年の秋ごろに友人が留学に行ったことで留学に興味を持ち、異文化を知りたい、韓国語を学びたいという思いから留学に行くことを考えるようになりました。私は試験を受けたのが4年次だったので、卒業論文を書いて、交換留学に行きました。時期が周りより遅れていることや帰国後のこと、お金のことなど不安に思うことはたくさんありましたが、それでも学生のうちにできることに挑戦したいと思い、留学試験に挑戦しました。お金のことに関しても両親と話し合っ、心配されたのですが、沖縄国際大学からの奨学金もありますし、なんとかお金をためて留学に行く計画を立てることができました。韓南大学からの奨学金も、100万₩（3月と9月）にありました。

・ビザや書類申請などについて

ビザや韓国の大学に提出する書類はなるべく早くするように心がけていました。特にビザの申請ですが、出国の三か月前くらいから申請が可能（2024年12月時点）だったので、余裕をもって申請したほうが良いと思います。私が申請する前に申請の条件、提出書類が変更になりました。私は11月くらいからホームページで情報を確認していたのですが、急に変更になったため、常に、ホームページの情報をしっかりと見ておいた方が良いと思います。また、ビザが発行された後に韓国に行き下見をするなど、韓国に行って帰ってきた場合、ビザを使ったということになり、ビザが失効するそうなのでビザをもらった後は渡航の日まで韓国に行かない方が良さそうです。

・留学前の動きについて

留学前は、事前学習にて韓国の文化や習慣や韓国語を学びました。前年度に留学に行った学生とともに授業を受けていたので、学校のことやおすすめの場所や気になることなどを聞くことができ、韓国での暮らしがイメージしやすかったです。些細なことでも教えてくれると思うので、その授業で沢山情報を集めておくのを勧めます。

留学直前、2月頃は韓国に持っていく生活用品や食品を集めていました。コストコに行ったり、通販で買ったりしました。注意点としては、たくさん買すぎないことです。私は、ふりかけを小さいものから大きいパックのものまでたくさん持っていきました。しかし、思ったより余り、最後まで残るものもあったので、もし、日本から荷物を送ってもらう方は心配だからとあまり大量に持っていかないことを勧めます。

・入国後について

気温は寒く、毎日ダウンを着て過ごしていました。入国後すぐに日本人のみのオリエンテーションが日本語で開催され、書類の提出や授業登録の話を行いました。バディーの子と初めてそこで対面して、バディーの子がいろいろ手伝ってくれました。

・学校について

授業は対面がほとんどでしたが、一つの授業が隔週で対面とオンラインの繰り返しでした。どの授業の教授も優しく声をかけてくださり日本人だからと授業を断られることはなかったです。学校の敷地は広く、移動が大変だと感じるときもありました。カフェ、学食、パン屋さんがあり友人と雑談するときに利用したりしました。自習室が2階にわたってあり、よく利用していました。自習室には、ご飯が食べられるスペースがあったり、仮眠できるいが置かれている休憩スペースがあったのでこちらもよく利用していました。学校の窓口に関してですが、学校専用のアプリの不具合などの問い合わせを学校の窓口に行って、確認したら電話をするという風に言われ、まっていたのですが、待っても電話が来ず、その後何回かまた窓口に行って問い合わせることがありました。連絡が来なくてもあきらめずに問い合わせをすることをお勧めします。

・バディー制度について

韓南大学には前期後期とバディー制度があります。バディーは、学校に問い合わせをしたいときや、授業を申請するときなど様々な場面で手伝ってくれます。1週間に1回会うというルールがあるようで、毎週固定の曜日を選んで、何か困ったことがないかなど、話したりしていました。ほかの日本人留学生の話を知ると、バディーと会っていなかったり、あまり積極的に活動しないと言っている人もいたので、なるべくバディーとは会う約束をして積極的に聞きたいことや手伝ってほしいことなどを助けてもらうことをお勧めします。私のバディーは本当によくしてくださってすぐ助かりました。後期が異性のバディーで最初は不安でしたが、毎週手伝いをしてくれて、すぐ助けてくれたので感謝しています。

・全体を通してよかったこと大変だったこと

韓国留学に行く前は、年下との付き合いが苦手で、留学先には年下しかいなかったもので、最初のころは年下との距離感や接し方がつかめず、大変でした。しかし、帰国するころには克服して、年下の子と苦手意識なく接することができました。帰国後も、年下と関わるのがあったのですが、韓国に行く前よりも楽に接することができています。また、韓国は勉強ができるカフェが多く、カフェで座って作業したい人にはすごくいいと思います。大変だったことは冬の寒さです。入国したときもでしたが、11月から帰国する12月後半まですごく寒く、外に出て散歩などの運動をしてストレスを解消していたのですが、冬は寒くて外に出られず、少し大変でした。また、日本人留学生どうしの人間関係の問題が少しあったみたいなので、そこも少し注意していた方がいいのかなと思いました。

・ご飯について

韓南大学の外国人寮は常備されているコンロを使うことができません。なので基本的にレンジ（地下一階に計二台）とウォーターサーバー（各階に一台）のお湯を使ってご飯を食べるか、食べに行く、出前を頼むことが多かったです。私は、寮では基本的にレンチンご飯、ふりかけ、即席みそ汁、スープの素、春雨スープ、パスタとパスタのもと、ラーメン、カレーを部屋に常備しており、その日の気分で組み合わせ食べていました。途中から、百貨店で買ったレンジでラーメンを調理するポットを使って、野菜や豚バラ肉を電子レンジで調理して、調味料をかけて食べたりするようになりました。食べられるものの幅が増え精神的によかったです。野菜やお肉は、Emart やロッテマートに行った際に買ったり、出前アプリで大型マートの注文宅配ができるので、よく利用していました。個人的に、もっと早くからレンジと調味料を活用してご飯を作っておいたらもっと食費の節約にもなったのと思いました。調味料は日本にあって韓国にないものもあります。また、

百均に売ってるような少なめの調味料がなく、基本的に大容量なので日本から買っていか、日本から送るのもいいと思います。

留学に行く前と行った後ではいろいろな変化がありました。日本食が食べたくてホームシックになることもありましたが、韓国でしかできない経験がありました。

最後に、私が留学先で一番最初に感じたことは、「人から聞いた話と自分が実際に見て感じることには大きな違いがある」でした。日本にいたときに見た『韓国はこうだ』などという偏見や韓国人の友人から聞いた『韓国はこうだから、、、』という否定的な韓国のイメージを私は少し信じて、そうなのかもしれない。と思いながら韓国に入国しました。ですが実際に韓国についてすぐに、聞いていたことと違うと思うことばかりでした。なので韓国に興味がある方や留学を迷っている方はぜひ自分の目で見て感じてみることをお勧めします。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	韓南大学	
留学期間	2025年2月26日～2025年12月30日	
所属学部・学科	総合文化学部・英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属学科
留学出発時の年次	3年	※春出発の場合は4月時点の学年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	TOPIK 未受験、語学堂 5A
帰国時	TOPIK6 級

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？ 所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。
簡単な単語がわかる。文章を読める。→ある程度長い文章が書けるようになった。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。
留学前から、日本語教員資格の取得を目指していたため、語学堂で韓国語を学ぶ外国人の様子を観察し、言語教育の現場の雰囲気を知ることを目標にしていた。実際に教員や周りの生徒の様子を目の当たりにし、自分の将来に関して考え直すきっかけになった。
その他、留学成果や今後の目標を記述してください。
今後 TOPIK が電子化するらしく、語学堂では韓国語のタイピングを練習する機会もあった。今後も受験し、成績を維持できるようにしたい。

【出国前の手続きについて】

● 事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	一緒に留学する先輩たちと顔合わせをすることができたこと。共同生活をする上で、コミュニケーションの入り口となり、良かったと思う。
--------------------------	---

● ビザについて

ビザの種類	D2
申請から発行までかかった期間	3週間程度
申請時期	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 ・ <input type="checkbox"/> 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、予防接種や 健康診断書の有無など	学校から推奨されている無料の健康診断は早めに完了しておいた方が良い。留学前に自費で診断し、急いで病院に書類を作成してもらうことになったため。

● 出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
なし。

● 出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
那覇空港→仁川空港 2時間30分程度 アシアナ航空利用 現地大学のピックアップサービスを利用し、寄宿舍までバスで3時間程度移動。
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
あり。1月末を期限に提携先大学への“フライト到着情報”の提出が求められるため、それ以前に沖国のグローバル教育支援センターに該当書類を提出、代理で送付を依頼した。 沖縄から韓国への便はピックアップ時間に間に合わないため、前日に発着・空港付近に宿泊し、翌日職員たちと合流した。
その他出発前に準備しておくべきこと
海外で利用できるカード数枚。りゅうぎんの口座開設。

【到着直後の手続きについて】

● 現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
2月28日：簡易的な学校紹介、パディとの顔合わせ、銀行口座開設のための書類提出。（顔写真が必要だった。）
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
開講前：2学期のパディとの顔合わせ。
その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など
銀行口座開設 銀行アプリ設定 外国人登録証の申請

【留学先大学の施設環境について】

● 留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について 留学生同士、および現地学生との交流について
ベトナムからの学生が大多数を占めていた。語学堂では、試験終わりなどにクラス全員でベトナム料理を食べに行った。 休日は日本人学生とカフェに行ったり食事をしたりする機会が多かった。今年度から日韓交流サークルが立ち上がり、そこで日語日文学科の韓国人学生との交流があった。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか（使用可能か） PCの有無と使用について ※PC教室の有無と授業等におけるノートPCの持ち込みの必要性について
図書館・自習室・学食・運動場など 図書館に自由に使用できるPCがあった。授業にノートPCの持ち込みは必要なかったが、授業資料は主にファイルで配布されるため、現地学生はiPadを活用していた。

● 危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
飲食店やコンビニ、カラオケ等が周辺にあり便利。 週末は道にゴミが散乱していたり、タバコを吸う人の唾、吸い殻などが多く落ちていたりするため注意が必要だと思った。
保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。
留学前に沖国から紹介のあった保険に加入した。大学付近の病院では即時利用ができないため、領収書を保管し、保険会社に治療費を後日請求する必要がある。 寮に現地保険の案内が送付されるが、加入の必要はない。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	20万 円（ <input type="checkbox"/> 月 ・ <input type="checkbox"/> 学期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 年 ）
	支払い時期と方法	3月、9月(7万円)7月(夏、休み5万円) 銀行へ座振り込み
滞在先② ※転居した場合	住居種別	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	円（ <input type="checkbox"/> 月 ・ <input type="checkbox"/> 学期 ・ <input type="checkbox"/> 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
<p>メリット：学校、特に語学堂のある建物に近い・近隣の施設が充実している。</p> <p>デメリット：深夜の管理者の訪問・冷蔵庫の衛生状態の悪さ・門限が早い。</p>		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
スーパーや通販でラーメンや即席ご飯などをまとめ買いし、レンジで調理して食べる。料理が禁止のため、電子レンジで完結するものが、出前を注文して食べるが多かった。		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？		
購入する必要があったものは何ですか？		
日本から持っていきべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
<p>布団と枕のセットが25,000ウォンで貸し出された。ベッド、机、充実した収納があった。</p> <p>要購入：トイレトーパー、ゴミ箱、洗濯用品、ティッシュ、水場の清掃用品、ドライヤー、ハンドソープなど</p> <p>不要：ハンガー、ワイパー、変換プラグなど</p>		
日常の買い物について		
日用品、掃除用品はルームメイトと交代で購入したり、割り勘で購入したりした。		
通販でのまとめ買いが安く、移動の必要もなく便利だった。		
現地での移動手段について		
バス、タクシーなど		
地下鉄の利用頻度は低かった。		
休暇中の過ごし方について		
ソウルや釜山への国内旅行や、国外旅行をした。		
TOPIK 受験前には対策をしたりした。		

【現地での授業について】

● 授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
学校側から留学生向けに登録方法のアナウンスはなかったため、自分で大学のホームページを見たり、韓国人学生に相談したりした。しかし、2学期の登録は個人ではできず、結局日本語担当の先生に代理で登録を依頼した。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
現地学生は相対評価が適用されるようだが、日本人留学生に関しては、日本人学生必修の授業を除いては絶対評価が適応されるようだった。日本人学生向けの授業は、パワーポイントでの発表が多く、そのクオリティが評価の対象となった。現地学生向けの授業は、中国と比較し、授業の進行速度が速く、試験の範囲が広いと感じた。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
日韓交流サークル“しずく”に加入した。韓国の伝統的な遊びを体験したり、テジョンの観光名所などを巡ったり。数回のみ参加した。	

● 留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
韓国学特講（学部授業・1学期）↓	3	アジア研究Ⅰ	2
音声論	3		
韓国社会の理解（学部授業・2学期）↓	3	アジア研究Ⅱ	2
英詩概論	3	英米詩概論	4
音韻論	3	Pronunciation Workshop	4
言語学概論	3	異文化理解Ⅰ	2
英語リスニングⅡ	3		
中国の政治経済改革	3	国際経済	2
犯罪学で真実を見る	3	法学	2
語学堂 5A（語学堂・春学期）		韓国語単位認定	

- ・ 履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・ 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
2月 26日	現地到着
2月 27日	寮到着
2月 28日	オリエンテーション
3月 4日	学部授業 開始
3月 10日	語学堂 春学期 開始
3月 27日	留学生歓迎会
3月 28日	現地交流チーム主催の食事会
4月 10・11 日	語学堂 中間試験
4月 14日～	学部 1学期 中間試験
4月 25・26 日	留学生フィールドトリップ
5月 18・21 日	語学堂 期末試験
5月 22日	語学堂 フィールドトリップ
6月 16日～	学部 1学期 期末試験
9月 1日	学部 2学期 開始
10月 3日～	秋節（連休）
10月 20日 ～	学部 2学期 中間試験
12月 16日 ～19日	学部 2学期 期末試験
12月 23日	退寮
12月 30日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		50,000	円		
B. 海外旅行保険（1年）		150,000	円		
C. 授業料（1年） ※沖国大に納める授業料は除く		0	円		
D. 教材費（1年）		10,000	円		
E. 生活費 (月額/年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	20,000	円（月額）	200,000	円（年額）
	食費	30,000	円（月額）	300,000	円（年額）
	交通費	5,000	円（月額）	50,000	円（年額）
	携帯代金	3,000	円（月額）	30,000	円（年額）
	交際費（娯楽代）	30,000	円（月額）	300,000	円（年額）
	その他	40,000	円（月額）	400,000	円（年額）
	生活費合計	128,000	円（月額）	1,280,000	円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		1,490,000	円		

- 留学費用について

費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
Wise というアプリを活用し、日本口座（日本円）→韓国口座（韓国ウォン）への送金及び換金を行うと便利。支払いは韓国のデビット機能付きの銀行カードで行うと良い。TOSS, Kakao カードを作ると、インターネットでの決済や送金がより便利だった。
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。
沖国から年間授業料・施設設備資金相当額（81万円）分の奨学金、また、韓南大学から各学期 100 万ウォンの奨学金が振り込まれる。しかし、沖国からの送金は年 2 回（5 月・11 月）と時期が遅いので、先に自分で十分な費用を用意してから留学に臨む必要があると思う。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	韓南大学校	
留学期間	2025年 2月 26日 ~ 2025年 12月 30日	
所属学部・学科	総合文化学部・英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	3年	※春学期派遣の場合は4月時点の年次

本文 (3,000 字以上)

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

10 ヶ月に及ぶ韓国での留学を通して、言語の学習以外にも貴重な経験がたくさんできたと思う。正直なところ半年目になると韓国での生活も飽きを感じ、沖縄に戻りたいと思う日も少なくはなかったが、学生の1学年分を外国で過ごしたということ自体が、自身の考え方や将来の計画に影響を与え、さらに忍耐力を養う良い機会になったと考える。

語学堂は春学期のみ、約2ヶ月程度在籍していた。私は TOPIK を受験したことがなかったが、語学堂では TOPIK の過去問が扱われることもあり、受験前にその形式や概要を知ることができた。夏に TOPIK を受験し、目標であった6級を取得することができたのも、語学堂での学びが大きかったと思う。また、語学堂は自身を含め日本人学生3人、その他はベトナム人学生で構成されていたため、授業では日本やベトナムの文化に触れることもあり、他国の文化を知る良い機会になった。仲良くなった学生とは休日に遊びに行ったり、試験終わりにはクラス全員で、クラスメイトの働くベトナム料理店に食事に行ったりと、短い期間ではあったが楽しい思い出を作ることができた。しかし、試験の際には“カンニングをさせてくれ”と堂々と頼んでくる生徒がおり驚いたのを覚えている。沖国で日本語教員育成課程を履修していた際に、外国人学生のカンニングの問題について話をきくこともあったが、実際に遭遇してみると拍子抜けした。活気に満ちた語学堂での学習は楽しかったが、教員の立場になると、エネルギー豊富な学生を相手に教鞭を執るのは大変そうだと感じた。韓国語の学びも充実していたが、自分の将来について考え直す良いきっかけにもなった。

学部の授業は、日本人学生対象の授業を除いて1学期に1科目、2学期に6科目受講した。大学は四年間で卒業したいという思いもあり、英米の専門選択必修に単位認定ができるよう、現地の英語英文学科の授業を中心に受講した。母語での進行ではないからか、または単純に沖国より授業スピードが早いからかは不明だが、授業について行くのには少し苦労した。しかし、ハンドアウトは英語で記されている授業が多く、外国人であることはあまりハンデにならないと感じた。学部での授業を検討している方は、怖がらずに挑戦してみると良いと思う。教授も親切で、受講を歓迎してくれたのが嬉しかった。そのおかげでより頑張ろうと思った。

そして、日本人学生対象の授業は1学期につき1授業あり、日程の合わない場合を除き、ほとんどの日本人留学生と一緒に受講した。そこでは、日韓の文化を比較しながら深掘りしていき、各国独自の良さや改善点を探っていった。個人での発表や、グループでの発表の機会が多く設けられており、日本では体験できない授業形式であった。特に2学期の授業“韓国社会の理解”で、日韓の社会問題を比較したことは、留学中に得た良い学びの一つになった。労働問題・ヤングケアラー問題など、日韓に共通する問題でも、社会的背景や文化的背景、人々の伝統的な考え方により生じる相違点も多いことがわかり、各国が互いに学び、改善すべき点について考える良い機会となった。年間を通して、同じ教授により進行される授業であったが、毎授業の教授の説明が長く、計画通りに授業が進行されることは少なかった。また、課題や進行計画などに関しては、教授の話す予定、日程が何度もかわるため、できる限り早く課題を進めたり、発表の準備をしたりしないと落ち着かなかった。随時振り回される感じはあったが、今となれば、それはそれで楽しかったと思う。

韓国の文化を体験して一番いいなと思ったのは、カフェ文化である。おしゃれな店・低価格な店など、多様なカフェがコンビニにひけを取らないほど多くあり、韓国人・日本人問わず、友人と出かける際はカフェに立ち寄ることが多かった。週

一回のバディ活動も、カフェが多いおかげで、毎回の行く場所に困らず、ゆっくりと話をすることができた。店内では勉強をしている人も多く、学生には良い環境だと思った。

寮生活で不便だったのは、共用の冷蔵庫が2台しかなく、スペースが少ないのにも関わらず、チキンを1ヶ月以上放置する人や食材を腐るまで片付けない人が多かったことだ。衛生面と悪臭がとても気になったので、時には寮のグループチャットで呼びかけ、返事がなかった際は処分したりした。また、留学終盤までは、洗濯機2台に対し、乾燥機が1台しかなく、タイミングが悪ければ洗濯を完了するまでに多くの時間を要した。管理者がその不便さにより気付いたのか、帰国前には乾燥機も2台に増えていた。そして、あまり融通が効かない部分が多いと思う。以前留学していた学生からの話をあてにし、2学期終了後の短期間の宿泊延長ができるのだと思っていたが、実際には長期しか受け付けていなかった。前年度と変更がある場合も多いため、問い合わせはできる限り早めを心がけると良いと思う。そして、門限が11時、それ以降11時50分～12時に一時のみ扉が開放され、それを逃すと5時にしか寮に入ることができなかった。門限がとても早く、機会を逃すと朝しか入れないので、逆に危険だと思った。

部屋は、沖国から派遣された人同士だったので、スムーズに話し合いや意見の言い合いができてよかった。他校や他の地域から来た学生と一緒にだと、違った困難があったのかもしれないと考える。寮生活は、不便な点も多かったが、同じ階に住む日本人と交流でき、他国の学生とも挨拶や短い会話などをし、関わる機会もあったため、とても良い経験になったと思う。一年間のため、何か気になる点があっても耐えられると思う。先述した通り料理ができず、食材の保管も困難なため、食事による健康などは気をつけた方が良く、それゆえにお金がかかってくる部分だと考える。一時期日本人の間でインフルエンザが続出した際は、隔離処置が行われた。病院はタクシーで5分ほどの場所にいくつかあり、私がかかった際には、2回の診察、点滴、薬の処方を含め17,000円ほど必要になった。診察内容や処方内訳の記入された領収書を控え、帰国してから保険会社に請求することで、全額保証された。タクシー代についても請求できるため、配車アプリの利用内容のスクショ等、控えておくが良い。

留学を控えている、もしくは検討中で、四年間で大学を卒業したいと考えている人は、授業を前期後期ともに上限まで登録し、できるだけ多く単位を取得することを推奨したい。春学期はTOPIK上級取得者でない限り、語学堂の授業を受講するため、学部授業はあまり多く登録しないことを勧められたが、自身のキャパシティを考慮した上で、最大限受講した方が良かったと少し後悔している。沖国の学科の専門選択必修科目は4単位だが、韓南大学の該当授業は3単位であるため、帰国後の読み替えの際、韓南大学の2科目分(6単位)と沖国の選択必修1科目(4単位)の交換になるためである。韓南大/4科目(12単位)：沖国3科目(12単位)といった組み換えはできない。そのため、沖国で読み替えたい単位数より多く、韓国で単位を取得しなければならない。どの授業が対応するかは、留学前に学科長にあたる教授と相談をする必要があるが、前述した点についても細かく確認しておくことをおすすめする。

留学前の準備や情報収集はなるべく早く、入念に行っておくとより安心して留学生活を送ることができると思う。しかし、もし何か不備があっても、その時点で最善を尽くせばどうにかなると、留学を通して知ることができたため、心配しすぎず、挑戦してみてもいいのではないかと思う。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	韓南大学	
留学期間	2025年 2月 26日 ~ 2026年 2月 21日	
所属学部・学科	総合文化学部・社会文化学科	※沖縄国際大学での所属学科
留学出発時の年次	3年次	※春出発の場合は4月時点の学年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	TOPIK2 級、語学堂 3A クラス
帰国時	TOPIK4 級

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？ 所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。
留学開始時は、TOPIK 2 級を持っていましたがお店の店員さんとの会話が難しかったです。しかし、帰国時は韓国人の友達と楽しく会話ができ、一人で韓国内の旅行にも沢山行けるようになりました。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。
韓国語を使う環境づくりと様々な地域に行くことを意識しました。環境づくりでは、大学のサークルに3つ加入して韓国人の友達を作り、韓国語で会話できる環境を心がけました。また、1年で10ヶ所以上の地域を訪れ、ソウルや釜山の都会だけでなく田舎の地域も観ることで地域ごとの文化や特徴も知ることができたと思います。留学当初は、韓国語で会話ができなかったので、どこに行くにしても恐怖心がありました。しかし、一度勇気を出して行動してみると、優しい韓国人の方に助けられて韓国の「情」を肌身で感じることができました。また、未知の世界に飛び込む楽しさを知る事ができました。その経験から行動力にも自信がついたと思います。
その他、留学成果や今後の目標を記述してください。
留学の成果は、語学力が伸びたこと、様々な地域を旅行したことで韓国の歴史や文化により関心を持つようになったこと、また社会の波にのまれず自分がやりたいことは自分のペースで進める大切さを学びました。今後の目標は、TOPIK 6 級を取得して韓国ワーホリに行く事です。

【出国前の手続きについて】

● 事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	韓国語でよく間違えやすい文法や連体形について基礎から復習することができたので良かったです。 また、留学に行ってきた先輩たちと交流したことで留学前の準備物や生活の相談をすることができたので良かったです。
--------------------------	---

● ビザについて

ビザの種類	留学ビザ (D-2)
申請から発行までかかった期間	26 日程度
申請時期	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 ・ <input type="checkbox"/> 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、予防接種や健康診断書の有無など	ビザの申請は、那覇市牧志にある「在日本大韓国民団沖縄県地方本部」で代理申請を行いました。事務所の建物がわかりづらく地図で検索しても曖昧だったため、一度事務所に電話して場所と営業時間をお伺いすることをお勧めします。また、申請から発行まで時間がかかったため、焦る事がないようなるべく早く申請することをお勧めします。

● 出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
荷物は、出発の 3 日前に発送しました。しかし、問題が発生したため再度母に郵送の書類を記入してもらい最初の発送から 2 週間後に再発送しました。その後、韓国の税関で止められてしまったので、日本人担当の先生に相談したところ、先生がオンラインで手続きをしてくださりました。アクシデントが 2 回あったので最初の発送から寮に到着するまで 4 週間かかりました。

● 出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
那覇空港から直行便で仁川空港に行きました。空港近くのホテルで一泊し、翌日大学のピックアップサービスを利用して韓南大学まで向かいました。
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
韓南大学は、ピックアップサービスがありました。出発の 1 ヶ月前に Arrival Information sheet の提出がありました。
その他出発前に準備しておくべきこと
韓国の口座ができるまで約 1 ヶ月半かかったので、事前に 10 万円ほど現金を用意して韓国で換金することをお勧めします。もしもの備えとして、琉銀の口座を作っておくと韓国の ATM で引き落としができるので安心です。

【到着直後の手続きについて】

● 現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
ピックアップの翌日にオリエンテーションがありました。日本人の交換留学生のみが集まり、パディとの顔合わせ、銀行口座の書類記入、外国人登録証の書類記入がありました。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
なし
その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など
入寮日に現金で保険金 20,000 ウォンの支払いがありました。退出する際にレンタルしたベットカバーや鍵の紛失がなかったので、全額返金されました。

【留学先大学の施設環境について】

● 留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について 留学生同士、および現地学生との交流について
日本人留学生は、1 学期 16 名、2 学期 20 名でした。語学堂は、ベトナム人が 9 割で、残りはモンゴル、中国、タイ、シンガポール、トルコ、エジプト、エチオピアなど様々な国の方がいました。外国人との交流は、語学堂や大学のプログラムに参加して友達を作ることができました。韓国人との交流は、日語日文学科との交流会や授業、サークルに入って友達を作りました。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか（使用可能か） PC の有無と使用について ※PC 教室の有無と授業等におけるノート PC の持ち込みの必要性について
図書館と自習室(56 番の建物 3,4 階)で勉強することができます。自習室を使用する際は、韓南大学のヘイヨン(헤이영캠퍼스)というアプリをインストールする必要があります。自習室入り口のタッチパネルから座席選択をして、アプリの QR コードをかざすと利用することができます。図書館と自習室に PC がありますが、自分のノートパソコンを持っていくと課題提出が楽だと思います。

● 危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
大学周辺の治安は、あまり悪くありませんが、大田複合バスターミナルの周辺は、モーターが多く道が少し暗いので気をつけた方がいいと思います。
保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。
韓南大学が提供した保険はありませんでした。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	24万 円（ <input type="checkbox"/> 月 ・ <input type="checkbox"/> 学期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 年 ）
	支払い時期と方法	学期・長期休み前にお知らせの紙が来て、口座振り込み
滞在先② ※転居した場合	住居種別	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	円（ <input type="checkbox"/> 月 ・ <input type="checkbox"/> 学期 ・ <input type="checkbox"/> 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
メリットは、費用が安いことです。デメリットは、門限が決まっている(夜 12 時～朝 5 時まで立ち入りできない)、料理禁止、冷蔵庫が 1 階と 2 階にしかない、電子レンジが地下 1 階にしかないことです。		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
料理は禁止ですが、電子レンジを使った軽い調理は可能です。白米は、クパンで 130g の 36 個入りを購入していました。日本から味噌汁やふりかけを持ってきたので食べていました。大学周辺は、ご飯屋さんが多いので持ち帰りして寮で食べることもよくありました。また、隣のリントン寮では、料理が可能なのでダイソーでフライパンなどの調理器具を用意して料理していました。		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？		
購入する必要があったものは何ですか？		
日本から持っていきべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
布団と枕は、事前の申請など無くレンタルできました。前入居者がハンガーや掃除用具を置いていってくれたので、それ以外に必要なドライヤーや洗剤など共同用品は、ルームメイトで割り勘して購入しました。		
日常の買い物について		
食材は、クパンや寮近くのマート、複合ターミナルの中にある e-mart で調達していました。		
現地での移動手段について		
大田では、バス、徒歩、自転車でした。自転車は、タシュ(타슈)というアプリをダウンロードして、大田市内を 1 時間無料で乗る事ができます。旅行の時は、地下鉄やタクシーを利用していました。		
休暇中の過ごし方について		
韓南大学の 56 番建物の 3,4 階にある自習室やカフェで勉強していました。		

【現地での授業について】

● 授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合（ 3 ）単位
語学学校のプレースメントテスト	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
<p>韓南大学の履修登録は、先着順なので PC バン(ネットカフェ)に行って時間まで待機していましたが、交換留学生在が申請できる日が在 学生と異なりその日は申請できませんでした。後日、申請したのですが人気の授業は既に枠がなくなっており取りかかった授業が受 けられなかったです。困った時は、日本人担当の先生にお願いをして履修登録してもらいました。</p>	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
<p>日語日文学科の日本語翻訳練習という週 2 回ある授業を受講しました。この授業で扱われる日本の小説、映画、漫画などの作品が 難しく、授業の進捗も早いので毎回予習をして参加していました。成績の評価は、韓国人の学生と外国人の学生の評価方法が異なる ので思ったより良い成績を貰うことができました。</p>	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
<p>ボードゲームサークル(BGM)、旅行サークル(대동여지도)、日韓交流サークル(しずく)に入りました。 BGM は、MT(新歓)で 1 泊 2 日ペンションに泊まり BBQ やカラオケ、ビーチで遊びました。その後もイベントごとに交流会がありました。 대동여지도は、学期ごとに 1 泊 2 日のプチ旅行がありました。エバーランドという遊園地に行って一日中遊び回ったあとペンションで交流 会がありました。 しずくは、韓国の伝統遊びの体験、夏は 1 泊 2 日で山の方に遊びに行ったり、ボードゲームをしりました。</p>	

● 留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
한국어특강（1 学期）	3		
한국사회의이해（2 学期）	3		
일본어번역연습（2 学期）	3		

- ・ 履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・ 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
2月 26日	現地到着
2月 27日	空港ピックアップ
3月 4日	大学 1学期スタート
3月 10日	語学堂（春学期）スタート
4月 8日	語学堂 中間テスト
4月 16日	大学 中間テスト期間
4月 25日	留学生フィールドトリップ
5月 16日	語学堂 期末テスト
5月 21日	語学堂（春学期）終了
5月 30日	日韓交流会
6月 9日	語学堂（夏学期）スタート
6月 18日	大学 期末テスト期間
6月 24日	1学期 終了
7月 9日	語学堂 中間テスト
8月 14日	語学堂 期末テスト
8月 18日	語学堂（夏学期）終了
9月 1日	大学 2学期スタート
10月 20日	大学 中間試験期間
12月 16日	大学 期末試験期間
12月 22日	大学 2学期終了
12月 23日	春休みスタート
2月 21日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額		
A. 渡航費（往復）		50,000	円	
B. 海外旅行保険（1年）		144,020	円	
C. 授業料（1年） ※冲国大に納める授業料は除く		70,000	円	
D. 教材費（1年）		8,500	円	
E. 生活費 (月額/年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）		円（月額）	240,000 円（年額）
	食費	25,000	円（月額）	300,000 円（年額）
	交通費	12,000	円（月額）	144,000 円（年額）
	携帯代金	3,000	円（月額）	36,000 円（年額）
	交際費（娯楽代）	30,000	円（月額）	360,000 円（年額）
	その他	30,000	円（月額）	360,000 円（年額）
生活費合計		100,000	円（月額）	1,440,000 円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		1,712,520	円	

- 留学費用について

費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
<p>韓国の仁川空港で交通系カード(T マニー)がセットになっている WOW パスを購入しました。韓国の銀行口座が発給されるまでは、日本から持ってきた現金を WOW パスにチャージして支払いをしていました。テジョンは、WOW パス専用の機械が 1 箇所しか無かったので、現金チャージをする時はそのホテルまで行っていました。口座ができるまで思っていたより時間がかかったため、日本から現金 10 万円ほど持っていき安心です。琉銀のデビットカードで韓国の ATM からお金を下ろすことはできますが、為替レートや手数料がかかるのであまりお勧めできません。</p> <p>韓国の口座が発給されるとそのデビットカードで支払いをしていました。その後、外国人登録証が発給されたのでカカオペイを登録し支払いをしていました。カカオペイは、ポイントを貯めて使用したり、PayPay のように友人にお金を送金することができるのでお勧めです。QR コード決済ができないお店もあるので、カカオペイマネーカードを発行しました。このカードは、カカオペイの口座と同じ場所からお金が引き落とされるので、お金の管理が楽になりました。私は、基本的にカカオペイか、カカオペイマネーカードで支払いをしていました。日本からの送金は、Wise アプリを使用していました。その時の為替レートによって金額が変化するので、Wise アプリ内で常にレートを確認していました。</p>
<p>留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。</p>
<p>留学中は、あれこれ目移りして余計な出費が出るので、日頃から家計簿をつけてお金の管理をすることをお勧めします。冲国からの奨学金は、5 月・11 月に給付されますが 10 月ごろになるとお金が底をつきそうになるので、奨学金は計画的に使用すると良いと思います。</p>

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	韓南大学	
留学期間	2025年2月26日～2026年2月21日	
所属学部・学科	総合文化学部・社会文化学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	4年次	※春学期派遣の場合は4月時点の年次

本文 (3,000字以上)

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

私はこれまで、身近な人から韓国に対する否定的な意見を聞くことが多くありました。そのため、「本当はどんな国なのだろうか」と自分の目で確かめてみたいと思い、韓国留学を決意しました。また、自分が実際に生活して感じたことを家族に伝えたいという気持ちもありました。

留学前の私は、一人で行動することがあまり得意ではありませんでした。一人行動をすると、孤独感を感じてしまうことや、知らない場所に行くと何が起るかわからない状況に不安を感じるタイプでした。韓国に対しても、正直、差別を受けるのではないかと心配がありました。特に、私は語学力が足りていなかったため、お店で言葉が通じなかった時、店員さんをイライラさせたり、冷たい態度を取られたりするのではないかと不安がありました。

渡韓後、最初の1ヶ月は本当に不安だけでした。必要以上に緊張しすぎていたせいか、勉強してきたはずの韓国語が思っていた以上に聞き取れず、私が伝えたい言葉がうまく出てこなくて困ったこともあります。できるだけ目立たないように、話しかけられないようにと身を縮めて生活していた時期もありました。

しかし、生活を続けていく中で、私の中にあつた思い込みは少しずつ変わっていきました。出会った韓国人の友人たちは、日本人である私を差別するどころか喜んで歓迎してくれました。日本に興味を持っている人も多く、日本語で話しかけてくれる人もいました。困っている時には助けてくれ、私の拙い韓国語にも根気強く耳を傾けてくれてその優しさに心の底から感動しました。

この留学生活で勇気を出して行動してよかったことは、1人でサークル紹介のイベントに足を運んで入部したことや、大学のプログラムで竹島に行ったことです。サークル紹介があつた時期は、韓国に来てまだ2週間も経過してなく、私の韓国語の実力もありませんでした。しかし、勇気を出して興味のあるサークルのブースに行き、「このサークルに入りたいです」ということを伝えました。しかし、相手が何を言っているのか聞き取りできず困っていると、相手も知っている日本語で一生懸命伝えてくれようとしてくれました。そして、部員の方が日本語を話せる韓国人を連れてきてくれたので、私はその方のおかげで無事に部活に入ることができ、部活内では「日本人が来た」と少し有名人になりました。このサークルの活動で、韓国の大学生の飲み会やMTの文化を楽しむことができました。そして、一緒に旅行に行くほど仲の良い友達も作ることができて、私の行動力に自信ができました。

竹島のプログラムでは、韓国人のバディがこのイベントを教えてくれて参加しました。日本と問題のある島なので、日本人だけ入島拒否をされるのではないかと不安でしたが、何の問題もなく竹島に行くことができ貴重な経験をすることができました。このプログラムでも日本人の参加者がいなかったため、2泊3日ほとんど韓国語で会話をして少し自信ができました。また、韓国語が上手な外国人の友達ができ彼女たちと話していると、私も韓国語の勉強を頑張ろうと刺激を受けました。日本語から離れて韓国語を使う環境が、一番成長を感じたので思い出に残っています。

留学生活で特に印象に残っていることは、友人の家族に紹介してもらった時のことです。家族の一員のように暖かく迎えていただき、食事をご馳走になったり、プレゼントをいただいたりしました。私は、人とのつながりを通して、韓国が好きになっていきました。

学業の面では、韓国語の壁に何度もぶつかりました。ネイティブ同士の会話についていけない時、自分の実力不足を

痛感しました。簡単な基礎表現がすぐ出てこない自分に落ち込むこともありました。そして、「もっと勉強しないといけない」と自分を追い込んで 11 月の TOPIK 試験を受けるまで、他の地域にあまり旅行に行かず勉強に専念していました。今考えると、留学に来て勉強だけ頑張るのは良くなかったと思います。これまで、沖国から韓国留学に行った人たちのほとんどが 6 級を取得して帰国していたので、私も TOPIK で 6 級を取らないと日本に帰れないというプレッシャーがありました。そのため、韓国語の勉強が義務になってしまい「なぜ外国語で重要な英語ではなく韓国語を勉強しているのか」と韓国語を勉強する楽しさを忘れ、この状況がだんだん辛くなったこともありました。そんなメンタルの状況でも自分を奮い立たせて一生懸命勉強し、試験当日は私の実力を最大限発揮しようと最後まで諦めずに問題を解きました。しかし、試験結果は私が思っていた以上に悪くて 1 週間ほど落ち込みました。その後は、この結果を受け入れて帰国して日本でまた頑張ろうと腹を括り、残り 2 ヶ月の留学生活は、旅行に行き楽しむことを優先しました。

1,2 月は、ソウル・プサン・チェジュ島・テグ・キョンジュ・スウォン・クァンジュなど多くの地域を訪れ、春休みの 2/3 は旅行して過ごしていました。元々苦手だった一人旅行に行く機会が増え、旅行先で出会った人と話しながら、韓国人の優しさに触れて「韓国留学に来てよかった」と思えるようになりました。旅行していく中で、「完璧に話すこと」よりも「伝えようとする」ことを大切にしようと考えようになりました。失敗してもいいから会話することを意識し、少しずつですが、自信を持てる場面も増えていきました。正直、1 年留学すれば TOPIK 6 級をとってネイティブと問題なくスラスラ会話できると思っていました。しかし、現実はその甘くないことを身をもって実感し気づくことができたので、この留学は価値あるものになったと思います。

生活面では、嬉しい経験があれば、傷つく経験もありました。人間関係の中で友達に冷たい態度を取られたり、無視された時は、正直ショックを受けたり、悩んだりもしました。しかし、その経験を通して、無理に関係を続けるより自分を大切にしてくれる友人を大切にしようと思えるようになりました。そして、私の周囲の環境を整える大切さも学びました。うまくいかなかった経験も、私にとっては大事な学びだったと思います。

そして、家族が韓国を訪れた際には、私が案内役となり、自分が実際に体験した韓国の魅力を伝えることができました。私をきっかけに韓国に来てくれたこと、そして実際に楽しんでくれたことが何よりも嬉しかったです。旅行後、家族は韓国に対して前向きな印象をもってくれました。特に、兄が韓国語の勉強を始め、父は韓国ドラマにハマって観るようになりました。私の留学が家族の意識にも影響を与えることができ、とても嬉しく思いました。もし、私が留学をしていなければ、家族が韓国を訪れることはなかったかもしれません。その意味でも、この 1 年は私個人だけでなく、家族にとっても価値ある時間だったと思います。

この留学を通して、私は 1 人で行動できるようになりました。不安があっても、とりあえずやってみようという姿勢を持てるようになったことは、自分の中で大きな成長だと感じています。また、自分の長所や短所と向き合う時間も多く、人として少し強くなったのではないかと思います。

語学力にはまだ自信がありませんし、課題も多く残っています。しかし、だからこそもっと挑戦したいという気持ちも生まれました。今後は、ワーキングホリデーにも挑戦し、さらに実践的な環境で自分を成長させたいと考えています。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	嘉泉大学	
留学期間	2025年2月25日～2026年2月12日	
所属学部・学科	総合文化学部・英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属学科
留学出発時の年次	3年次	※春出発の場合は4月時点の学年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	語学堂4級クラス
帰国時	語学堂5級クラス

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？ 所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。
留学開始時は、語学堂で行われるテストでの長文読解が遅かったり、ライティングはどう書けばよいのわからない程度でした。帰国時にはスラスラ読めるようになり、ライティングも自分の考えを書くことが難しくなくなっていました。リスニングも留学開始時は韓国人の友達と会話をする際に聞き返すことが多かったのですが、帰国時にはとてもスムーズに会話をすることができました。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。
語学力の向上以外にも、韓国の文化や歴史を学ぶこと、韓国人以外の外国人留学生と仲良くなることを目的としていました。嘉泉大学のグローバルセンターが行っている活動で朝鮮時代のお城を見ながら解説を聞いたり、韓服も着て体験的に韓国の歴史に触れることができました。また、他の外国人留学生とも仲良くなり、韓国だけでなく様々な国の人と関わりその国の文化や風習などを学ぶことができました。
その他、留学成果や今後の目標を記述してください。
今回の留学で嘉泉大学の部活に入部したりテコンドーの授業を取ったりと、そこで語学堂の授業では学ぶことができなかった専門的な単語も学ぶことができました。 今後は、TOPIKの試験に向けて引き続き勉強をしていきたいと考えています。

【出国前の手続きについて】

● 事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	留学に行ってきた人たちと、その大学の近くにあるお店やショップなどについて様々なことを事前を知ることができて、現地では特に戸惑うこともなくスムーズに生活を始められました。また、現地では逆に日本や沖縄のことも聞かれることが多かったのですが、事前研修で、日本や沖縄についても調べる機会があり、それが役に立ちました。
--------------------------	--

● ビザについて

ビザの種類	D-2
申請から発行までかかった期間	7日程度
申請時期	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 ・ <input type="checkbox"/> 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、予防接種や健康診断書の有無など	私がビザを申請したところは、那覇市にある在日日本大韓民国民団沖縄県地方本部という場所です。わかりづらいところがあるので時間に余裕をもっていった方がいいと思います。必要な書類は、パスポート、マイナンバーカード、健康診断書などでした。費用は一万円程度だったと思います。

● 出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
私は出発の際に荷物は発送せずにキャリーケースのみでした。 荷物の届く場所が寮からかなり離れているので、荷物を発送するなら学校運営のシャトルバスが稼働する時期（2月末以降）が良いと思います。

● 出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
沖縄から仁川空港までは直行便があるので経由はしませんでした。仁川空港については嘉泉大学がピックアップをしてくれて、学校までそのバスに乗って移動しました。
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
嘉泉大学は出迎えサービスがありました。 嘉泉大学のグローバルセンターの職員とカカオトークを交換して、やりとりしていました。書類を送るときにカカオトークの ID も記入したのでそこから追加が来ました。
その他出発前に準備しておくべきこと
変換プラグや薬、痛み止めなどは必須だと思いました。

【到着直後の手続きについて】

● 現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など

グローバルセンターが実施するバディプログラムのオリエンテーションがありました。バディのメンバーと一緒に座って説明を聞きました。

参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など

特になし

その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など

寮に着いてすぐに寮の申請を行いました。そして外国人登録証は団体申請をしました。外国人登録証が発行された後は銀行の口座を開設しました。

【留学先大学の施設環境について】

● 留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について

留学生同士、および現地学生との交流について

留学生の割合は 3 割程度だと感じました。

韓国人以外の外国人とはほとんど語学堂での交流が多かったです。

大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか（使用可能か）

PC の有無と使用について ※PC 教室の有無と授業等におけるノート PC の持ち込みの必要性について

大学の設備にはトレーニングルームや体育館がありました。体育館は申請したら使えます。

電子図書館に PC があり、それも申請すれば使えると思います。でも、PC は持参した方がよいと思います。

● 危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。

大学構内・周辺の治安はかなり良いと感じました。留学期間に 2 回ほど宗教勧誘のような内容で話しかけられましたが、それ以外には特に何もありませんでした。

保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。

留学先大学が提供する保険はありませんでした。しかし、健康保険を支払わなければならず、月に 7 千円ほどでした。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	0 円（ <input checked="" type="checkbox"/> 月 ・ <input type="checkbox"/> 学期 ・ <input type="checkbox"/> 年 ）
	支払い時期と方法	<input checked="" type="checkbox"/> 座振り込み
滞在先② ※転居した場合	住居種別	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	25,000 円（ <input checked="" type="checkbox"/> 月 ・ <input type="checkbox"/> 学期 ・ <input type="checkbox"/> 年 ）
	支払い時期と方法	<input type="checkbox"/> 座振り込み
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
<p>メリット：料理ができる・目の前にグラウンドがありいつでも運動できる</p> <p>デメリット：壁が薄いので隣の声が聞こえる</p>		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
語学堂のお昼時間にはコンビニで買って食べていた。授業が終わってからは学食で済ませていました。夜ご飯は自炊をしたり日本で言うウーバーイーツのようなものを利用したりしていました。		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？		
購入する必要があったものは何ですか？		
日本から持っていきべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
用意されていたものは寝具、机でした。フライパンや食器、ハンガー、シャンプーやリンス、ボディークリームなどたくさんの物を購入する必要がありました。日本からは変換プラグやパソコン、モバイルバッテリーなどをもってきて、とても便利でした。		
日常の買い物について		
日常では学校の近くにダイソーがあるのでそこで洗顔クリームなどを買っていました。		
現地での移動手段について		
移動手段は基本的に地下鉄やバスを利用していました。時々タクシーも利用しました。		
休暇中の過ごし方について		
休暇中には、部活に参加したり旅行に行ったりしました。		

【現地での授業について】

● 授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
ポータルから授業登録を行うのですが、すべて韓国語なので登録するのに時間がかかりました。また、どの教科がどの項目に振り分けられているのか探るのが難しかったのですが、韓国人の友達に教えてもらいながら授業登録を進めることができました。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
沖縄国際大学での韓国語の授業と比較すると、週に 2 回なのに対し、語学堂では週 5 日 9:00~13:00 まで韓国語を学ぶので学習量は自然と多くなりました。また、1 日に文法を 4 つ習うこともあったのですが、それだと少し授業スピードが速いと感じました。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
バレーボール部に参加していました。週に 2~3 回の練習があり、日によって練習の時間帯はバラバラでした。	

● 留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
Japanese Conversation3（前期・学部授業）	3		
Korean conversational skills（後期・学部授業）	3		
Leisure & Sport 2（後期・学部授業）	1		

- ・ 履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・ 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
2月25日	現地到着
2月27日	オリエンテーション
3月5日	語学堂・学部授業開始
3月21日	バディプログラムオリエンテーション
4月4日	語学堂 中間試験 & 課外活動（キャンプ）
4月9日	テスト返却
4月16日	外国人登録証の団体指紋登録
4月23日	学部授業中間試験
5月12日	語学堂 期末試験
5月14日	学園祭
5月15日	語学堂修了式
9月8日	語学堂開始 & 学部授業オリエンテーション
9月9日	学園祭
10月16日	語学堂中間試験
10月21日	学部授業中間試験
10月24日	語学堂 文化体験（ソウルランド）
11月17日	語学堂期末試験
11月20日	語学堂修了式
12月8日	学部授業期末試験
2月12日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		約 60,000	円		
B. 海外旅行保険（1年）		約 100,000	円		
C. 授業料（1年） ※冲国大に納める授業料は除く		0	円		
D. 教材費（1年）		約 20,000	円		
E. 生活費 (月額/年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	25,000	円（月額）	150,000	円（年額）
	食費	25,000	円（月額）	280,000	円（年額）
	交通費	3000	円（月額）	33,000	円（年額）
	携帯代金	3630	円（月額）	約 30,000	円（年額）
	交際費（娯楽代）	28,000	円（月額）	約 300,000	円（年額）
	その他	3,000	円（月額）	33,000	円（年額）
生活費合計		約 90,000	円（月額）	826,000	円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		約 1,006,000	円		

● 留学費用について

<p>費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など</p> <p>現金で 30 万円ほど持ってきて、韓国の銀行口座ができるまではクレジットカードや現金を使っていました。それと毎月 Wise というアプリを使って韓国の口座に送金してもらっていました。</p>
<p>留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。</p> <p>学費、渡航費、保険料、ビザ申請費、住居費、生活費、予備費などの総額を見た方がいいと思います。また、日本から送金する場合は為替レートを見て送金するかどうかの判断をしてもいいのかなと思いました。</p>

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	嘉泉大学
留学期間	2025年2月25日～2026年2月12日
所属学部・学科	英米言語文化学科 ※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	3年次 ※春学期派遣の場合は4月時点の年次

私が留学しようと思った理由は、K-POP が好きで韓国語も勉強していくうちに韓国の料理や文化に興味を持ったからです。留学前の自分の目標は語学力を伸ばすこと、現地で韓国人やそのほかの外国人の友達を作ることでした。

韓国に着いてまずは、寮の申請、授業登録、外国人登録証の申請、電話番号の取得、銀行口座の開設に取り掛かった方がよいと実感しました。授業登録は沖縄国際大学の単位変換ができるものを事前に調べておくとスムーズに登録できると思います。

現地の語学堂の授業は月～金で9：00～13：00（3級以下は12：00まで、4級以上は13：00まで）でした。日本人の留学生がとても少なく、クラスに私一人だったのでクラスメイトと仲良くできるか不安でしたが、ミャンマーからの留学生がお菓子をくれたり話しかけてくれたりして仲良くなることができました。また4級のクラスからスタートしたのでついていけるかも不安でしたが、すでに知っている文法や単語も頻繁に出てきたので少し安心した記憶があります。一日に文法を3～4つ習うこともあったのでそういう日は少し進むスピードが上がったりと授業スピードは比較的早めだと感じました。文法を習ったその日は新鮮な記憶のままいられるので問題はないですが、2日、3日と過ぎていくとかなり忘れていたので定期的な復習は必須だと思います。教科書が Resson1, 2 といくつかのカテゴリーで別れているのですが、2つ終わったタイミングでその範囲の単語テスト（成績には入らない）がありました。全部で20問ほどですが、最初の10問は適当な単語を選ぶもので、残りの10問は文法に合わせて単語の活用を変えるものでした。範囲が広いというのもあり、これがかかなり難しくいつも1～2問ミスをしていました。成績に入らないとはいえ、自分のためになるので毎回しっかり勉強していました。リーディングの日はクラスみんなで音読をしたりもしました。最初は声を出すのが少し恥ずかしいと感じていました。しかし、他の外国人留学生は間違えていたとしてもしっかり声を張っていたので、見習うべきだと思います自分も実践しました。そのおかげであまり恥ずかしくならず声を出すことができるようになりました。

語学堂の授業では度々みんなの前に立って発表することもありました。これも最初は緊張したり恥ずかしく思ったりということがありましたが、先ほどと同様に他のクラスメイトを見習って自信をもって発表できるようになりました。また、先生も自分がわからないことがあったら優しく丁寧に教えてくれるのでそれもまた緊張がほどけてリラックスして発表できることに繋がりました。

次に一日の流れを紹介します。9：00～13：00まで語学堂の授業を受けた後、昼ご飯を食べて学部授業がある日はその授業を受けます。そして授業が終わってそのまま友達とカフェに行って宿題や復習をしたりしました。私はバレ一部に所属していたのですが、練習時間は毎回バラバラでお昼過ぎに練習があったり、夜に練習があったりしたのでその時間にあわせて参加していました。練習後は寮でご飯を作って食べたりコンビニで買って食べたりしました。

今回の留学経験を通して私が今後留学に行く皆さんにぜひ挑戦してほしいと実感したことは、3つあります。

まず1つ目は積極的に行動することです。嘉泉大学はグローバルセンターが行う文化体験や課外活動が豊富にあるので、参加できるものはすべて参加した方がよいと感じました。その理由は、その文化体験や課外活動には韓国人以外の外国人留学生が主に参加するからです。韓国人以外の外国人とも交流を深めて、お互いに言語交換や風習、その国独自のゲームなども教え合って自身の価値観が豊かに育つと考えるからです。私自身、語学堂や文化体験などを通して様々な国籍の人と仲良くなりました。一緒に運動したり、お互いの言語を教え合ったり、トランプなどゲームもたくさんやりました。やはり、国籍ごとに価値観が違うのでそれが面白かったです。個人的には韓国語以外の外国語に

直接触れられたことがとても良かったと感じました。挨拶や簡単な単語くらいしか習ってませんが、それぞれ文字や発音、文法なども違っていることが面白かったです。また、自分で調べた単語や簡単な文章が相手に伝わったときがとても嬉しかったです。語学堂の先生が言っていたのですが、他の外国人留学生と韓国語で会話することで語学力が伸びるそうです。その理由は発音や文法が完璧ではないからこそ、より耳を傾けて相手の言おうとしていることを理解しようと集中するためだと実感しました。

2 つ目は、韓国語だけでなく韓国の歴史や文化、伝統芸能に触れることです。文化体験を通して景福宮（キョンボクン）など朝鮮時代の名残がある場所に何か所か行く機会がありました。そこでスタッフの方が城のデザインの由来や造りの名称などを解説してくれながら実物を見ることができたので、とても理解が深まったと思います。日月五峰図（イルウォロポンド）という屏風絵があります。それは王の権威、宇宙の調和、朝鮮王朝の永遠の繁栄を象徴しているものだそうで朝鮮時代は王の後ろに必ず飾られていたものだそうです。城の構成に使われている配色や屏風絵の意味など理解できたことは昔の人々の暮らしや考え方が見えてくるような気がしてとても興味深かったです。

そして 3 つ目は部活動やクラブに参加することです。様々な活動を通して現地の人と仲良くなることで、語学堂では学ぶことができないネイティブの韓国語だったり、韓国人の「今」を知ることができるからです。バレーボール部に所属してバレーの専門用語を韓国語でなんというのかわかりませんでした。活動を通しながら体系的に学ぶことができ、体に染みついたように思います。また、現地の人しか知らないおいしいお店を教えてもらったりしました。

今後の課題は、もう少し専門的な分野の韓国語を勉強することです。今回の留学を通して日常会話のレベルは確実に成長したと感じます。しかし、バレーボールであったり、なんらかの活動をしていく上で専門用語は必須になってきます。だから、これからワーキングホリデーに行くにしろ行かないにしろ、やりたい職業のことを少しでも韓国語で説明したりできるようになればいつか役立つのではないのかなと考えています。

そしてこれから挑戦したいことは TOPIK の取得です。韓国でも試験を受けようとしたのですが、現地の受験申込方法が先着順なので受けることができませんでした。これから習った韓国語、身につけた韓国語を忘れないように復習しながら TOPIK6 級合格を目指して勉強に励みたいと思います。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	嘉泉大学 韓国	
留学期間	2025年 2月 25日 ~ 2026年 2月 11日	
所属学部・学科	経済学部 地域環境政策学科	※沖縄国際大学での所属学科
留学出発時の年次	4年次	※春出発の場合は4月時点の学年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	TOPIK2 語学堂 4級
帰国時	語学堂 5級 銀行や空港などの公共行政機関の職員たちとも不便なく会話ができる程度 TOPIK 未取得

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？ 所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。
韓国語を話すときに言葉が詰まったり、わからない単語文法で話を通じないときがあったり、銀行や郵便局などの行政機関を利用する際に意思疎通するのが大変だった。 帰国時には、不便なく流暢に会話することができ語彙力なども上昇し自分が伝えたいことが相手に伝わるようになったり、行政機関を利用してもわからない単語があまりなくスムーズに手続きができた。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。
留学に行く前の目標は国籍関係なく友達をつくることいろんな経験をすること。 友達は韓国人の友達はもちろん、イギリス、イタリア、モンゴル、などの多国籍な友達を作ることができ、韓国語で会話はもちろん時には英語を使いながら会話をした。
その他、留学成果や今後の目標を記述してください。
韓国では韓国語能力試験 TOPIK を受験することができなかったため沖縄で TOPIK を受験して6級取得を目指す。 いろんな国の人たちとかがわってきて自分たちの国の良さや悪さを知ることができ、いろんな文化に触れてきたので視野が広がった。

【出国前の手続きについて】

● 事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	日常で使うものの単語や韓国の文化の特徴、文法などを勉強することができ、何よりも実際に交換留学に行ってきた先輩方からの現地の情報を詳しく聞くことができたので準備したほうがいいものなどをちゃんと準備して留学に向けてきちんと準備することが出来た。
--------------------------	--

● ビザについて

ビザの種類	D-2
申請から発行までかかった期間	10 日程度
申請時期	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 ・ <input type="checkbox"/> 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、予防接種や健康診断書の有無など	自分の時はビザの申請をするときに直接福岡大使館まで行かないといけなかったので必要書類を福岡大使館に行くときに忘れてきたり不備があったりするとまた一から書いて大使館までもっていかなければならなかったので大使館に行くまでに入念に必要書類があるかどうか、不備がないのか確認してから行った。

● 出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
出発前には荷物は送らず現地について 2 週間ほどしてから実家から荷物を送ってもらった。寮の住所宛に送ってもらったが、寮ではなく学内の嘉泉館という建物の 10 階の 1006 号室に保管された。

● 出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
那覇空港→仁川空港 第二ターミナル 約二時間半程度 仁川空港から嘉泉大学のピックアップを利用して大学のバスに乗って高速道路から約 1 時間弱で嘉泉大学に到着
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
出発日の 1 週間前くらいにピックアップサービスの連絡がきた。 申し込みはなく、個別で行く人は韓国の大学の担当の先生に連絡
その他出発前に準備しておくべきこと
クレジットカードを 2 つくらい用意しておく和良好的。基本カード決済なので現金を持っていてもあんまり使わなかったりカードしか使えないところもある。

【到着直後の手続きについて】

●現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
2月25日に韓国について27日に交換留学生だけのオリエンテーションがグローバルセンターで行われた。 大学内の施設案内、学校の歴史、学校の概要、行事日程、言語交換プログラム、履修登録方法、生活していくうえでの注意事項や気を付けた方がいいことの説明、外国人登録証の申請方法など。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
なし。
その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など
外国人登録証の申請、銀行開設（外国人登録証ができないと開設できない）、ビザの延長申請

【留学先大学の施設環境について】

●留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について 留学生同士、および現地学生との交流について
中国人の割合が多いと聞いていたが思ったより、ベトナム、ミャンマー、モンゴル人の割合が多かった。交換留学生には、イギリス、イタリア、フランス、中国、台湾人がいた。 言語交換プログラムを利用して韓国人の学生と交流したり、バディ制度でサポートしてくれる現地の韓国人学生がいたのでその友達と仲良くなったり友達を紹介してもらったりした。 大学のバレーボール部に入部して交流の場を広げた。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか（使用可能か） PCの有無と使用について ※PC教室の有無と授業等におけるノートPCの持ち込みの必要性について
コンビニが大学施設内に6個ある。また、銀行、郵便局、カフェ、学食3か所、学食以外の食堂10店舗、眼鏡屋、本屋、オーリーブヤング、図書館が2つなど。大学内は広く傾斜もあるので祝日、長期休み、雨天時や雪が降るとき以外は午前8時半から午後5時までシャトルバスが10分間隔で運行している。 カフェ以外にも空き教室などを利用して自習できたり、普通に自習スペースがある。

●危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
治安は良い。学校周辺には飲み屋があるのでたまに酔っぱらった人が歩いていたりする。交番が近くにあるため対応が早い。
保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。
留学に行く前に海外保険に加入していたが、外国人登録証が発行された翌月から韓国の国民健康保険に自動加入されて保険料が発生する。保険料は月75000ウォンくらいかかり結構痛手になる。海外保険に加入している場合、国民健康保険を解約することが出来る。

現地での移動手段について

基本、地下鉄とバス。近場は散歩がてら歩いて行ったりした。

休暇中の過ごし方について

友達とカフェに行ってお喋りしたり、勉強した。

ソンスとかミョンドンとかホンデとかソウルに行ってショッピングをした。

部活の練習に行ったりした。韓国国内を旅行して友達に会いに行ったりした。

- ・ 履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・ 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
2月 25日	現地到着
2月 27日	春学期交換留学生オリエンテーション
3月 4日	語学堂 開講 4月 3.4日 中間テスト 5月 12.13日 期末テスト 5月 15日春学期終了
4月 2日	嘉泉大学 春の学祭
4月 4日	留学生 キャンプ 1泊2日
4月 6日	言語交換プログラム 計5回 始まり 5月 25日 終了
4月 11日	語学堂 文化体験 ロッテワールド
4月 21日	韓国の大学 学部授業 中間試験期間 25日まで
5月 14日	夏の学祭 ウォーターフェスティバル
6月 24日	GISS 3日間のグローバルセンターのプログラム 1日目 K-pop ダンス 2日目ロッテワールド 3日目 修了式
9月 1日	語学堂 5級 開講 10月 16.17日 中間試験 11月 17.18.19日 期末試験 21日修了
9月 9日	秋の学祭 3日間開催
12月 8日	学部授業 期末試験期間 12日まで
12月 17日	GISS 三日間のプログラム 1日目製作体験、K-pop ダンス 2日目ロッテワールド 3日目修了 式
12月 20日	冬休み 開始
2月 11日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		55000	円		
B. 海外旅行保険（1年）		144020	円		
C. 授業料（1年） ※冲国大に納める授業料は除く		0	円		
D. 教材費（1年）		15000	円		
E. 生活費 (月額/年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	10000	円（月額）	100000	円（年額）
	食費	30000	円（月額）	360000	円（年額）
	交通費	4000	円（月額）	48000	円（年額）
	携帯代金	3000	円（月額）	18000	円（年額）
	交際費（娯楽代）	40000	円（月額）	480000	円（年額）
	その他	2000	円（月額）	24000	円（年額）
生活費合計		79000	円（月額）	1030000	円（年額）
F. 留学生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		1244020	円		

- 留学費用について

費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
<p>自分は基本日本のカードを使って決済していたが他の日本人の友人は日本円を明洞などで換金して韓国ウォンで銀行口座に入金したりしていた。現金を使うことが圧倒的に少なく現金を使った記憶がない。</p> <p>日本からの送金方法は学校の銀行の前に国際 ATM があったのでそこで日本の口座から韓国ウォンを引き出していた。他の生徒は WISE という海外口座への送金アプリを使って送金したりしていた。</p>
<p>留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。</p> <p>留学にいったばかりの頃は準備したりするものが多くて出費が増えた。</p> <p>大体予算で 130 万円程度あった方が苦労しないと思う。韓国の物価も少しずつ上がってきて日本円もウォンより安かったので少し大変だったイメージ。</p>

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	嘉泉大学	
留学期間	2025年2月25日～2026年2月11日	
所属学部・学科	経済学部 地域環境政策学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	4	※春学期派遣の場合は4月時点の年次

本文 (3,000 字以上)

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

今回の留学でいろいろなことを海外で経験しながら生活することが出来たのでとてもいい刺激を受けとても人間として成長した留学生活だと思った。言葉が通じない国で生活していくことはとても大変だったが自分で解決する力を培うことが出来たと思う。行政機関とか普通の生活で店員さんに聞いたり、わからないことはすぐに聞く文化だったので最初は言葉があんまり通じなくてあんまり店員さんに聞けなかったが、後半は店員さんにすぐに聞くことが出来るようになった。また、自分は元々人見知り激しく友達と仲良くなる時、自分から話しかけれないほどひどかったのですが、韓国に来てからは積極的に話しかけることを心がけて言葉が通じなくても翻訳機などを使って会話したりしていた。そのおかげで、日本に帰ってきてからは言語が通じるので何ごとにも物怖じせずに話しかけられ、人見知りが無くなったと感じる。性格も内向的な性格から外交的な性格になり、楽しいことには積極的に参加し、韓国では寮生活だったが寮の門限ぎりぎりまで外にでて遊びに行ったり勉強したり部屋にいることはあまりなかったと思う。留学生活では、韓国人だけでなく、他の国の留学生たちとも仲良くなることができ、それぞれの国の文化や歴史、言語など韓国文化以外にもいろいろなことが学べた。人見知りがあるからと言って何もしないことは時間とお金ももたないため、グローバルセンターが行うイベントや制度などを使って留学生が集まるイベントや韓国人と交流できるプログラムに積極的に参加して交流の幅を広げてほしい。語学力の向上はもちろん日韓関係のリアルな一面も知ることが出来るし現地の学生もどのように考えているのか知ることが出来る。韓国人学生以外にも他の地域の学生とも親交を深めている人々と関わって視野を広げてほしい。また、日本の学生と違ってみんな積極的に政治に関するニュースや記事を読み情報を探っていたり、投票などに積極的に参加しているため若者の意見が政治に反映されていると感じた。日本の若者の投票数や政治に関する関心の少なさなど日本も韓国やほかの国の若者たちようになってほしいなと考えさせられた。

-授業や学校等での印象-

授業では日本とは違い話し合いをしたり、グループを作って発表する時間が設けられたりして、パワポを作ったり、意見発表をする機会が多く、自己主張をする大切さや強調性などを学ぶことが出来た。また、韓国の授業では社会に出ても大丈夫なように大学生のうちからパワポを作って発表する構成で授業ごとにパワポを必ず一回以上は作ってみんなの前で主題に沿って発表し、各試験期間はみんな夜遅くまで勉強していて試験の一週間前から寮の門限がなくなり図書館も24時間開放されるのでカフェで勉強した後に図書館に行く学生がいたり、自主スペースで勉強する人が多かった。学歴社会なので試験期間以外にも普段から勉強している人が多く、就活をする際に必要な資格などを取得するために勉強している学生が多く、周りの友達にもずっと資格の勉強をしている学生がいて自己投資をしている学生が多く見られた。

学校生活では、季節の行事が多くそれ以外にも学生会や部活、サークルなどのイベントが多く開催されるので全然飽きなかった。学校の大きな行事には韓国の学祭の醍醐味の有名なアイドルやアーティストたちが来て大盛り上がりだった。それにプラス、フードトラックが来たり、商品の無料配布イベントや SNS を活用したイベントが多かった。サークルなどの活動が活発でサークルの紹介ブースなども学期ごとに開催されてとても楽しかった。特に夏の学祭はウォーターフェステ

イバルなのでみんなですぐ濡れになりながらアーティストたちの公演を聞いて童心に戻ることが出来た。広場では学生サークルの展示はもちろん、占いやフリーマーケット、軍の勧誘ブースなどが定期的に来ていた。夏は日差しはとて強くて学校の勾配がひどく学内シャトルバスがなければ本当にしんどい。冬は建物風が強くマイナスの世界なのに強い風が吹いて大変で傾斜があるので雪が降ると道が凍ってしまうので滑らないように歩くのが大変だった。

-留学生活でやってよかったこと-

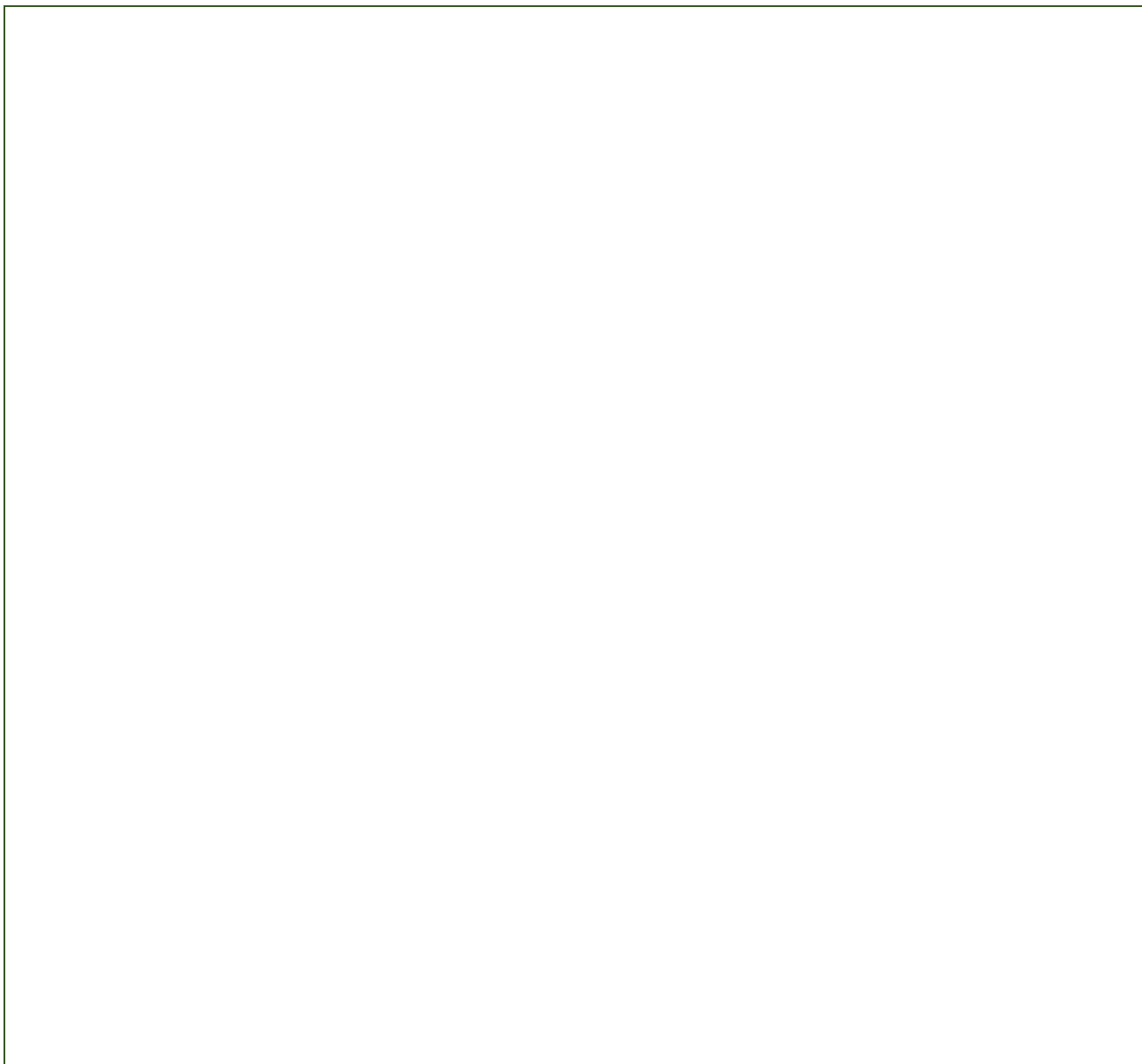
留学生活はとりあえず現地の学生やほかの留学生と仲良くなった方がいいのかなと思う。会話をしなければ語学力は向上しないし、聴き取りなども向上しないし、現地の学生が使う実際の韓国語を知ることができ、教科書だけで学ぶ韓国語よりも実践しやすい単語や文法、流行語などを学ぶことが出来た。また、学校関係で困っていることがあったりしたら友達に聞いて教えてもらったり手伝ってもらったりした。休みの日には遊びに行きショッピングしたり、カフェに行ったり、テスト期間中にはテスト勉強をしに図書館に行ったり、カフェにいたり、わからないところがあればお互い教え合ったりしてアウトプットとインプットができ、いい刺激を受けることが出来るからいいと思う。また、住んでいる地域が違う友達が居たら、週末とか長期休みを利用して韓国的高速鉄道 KTX や SRT、飛行機等を利用して韓国国内を旅行することが出来る。自分は韓国の大田市に友達がいたので何回か高速鉄道を利用して遊びに行ってお友達に会ったついでに観光したりしていた。

他の留学生たちとはお互いに話す言語が韓国語のため話そうとするとときにわからない単語とか文法のせいで話せないときなどがあってそのたびに悔しくて翻訳機を介したり、勉強して学んだり、相手が使う単語とか文法を学んだりして韓国人と話すのはもちろん他の国の留学生と話すほうが学力の向上が早かったのかなと感じた。韓国語以外にも英語を使ったりする場面が思っていたよりも多く英語の語学力も少し向上したと思う。それぞれの国の言語を教え合ったりするので挨拶とか自己紹介が少しだけできるようになった。

-留学を通して感じたこと-

留学をすることは自分を成長させる良い機会だと思う。自分の強みや弱みを客観視できるようになり強みをどう生かすのか、弱みをどう直すのか自己分析して自己解決できるようになった。また、いろいろな人たちと関わっていくことでいろいろな人に出会い、いろいろな考え方に触れ、自分の考えの狭さに気づけたり、新しい考え方に触れることのできるため考えの幅や視野が広がったり、何事にも柔軟に対応する柔軟性が身についたと思う。自分の国や地域を海外という外側からの視点で見てみたときに自分の国に対する考えまた、かけがえのない友達や仲間を巡り合えたとても大切な機会だったと思う。国や文化、言語が違う人たちと韓国でお互いに共通の外国語を話しながら仲良くなりたがいに切磋琢磨しながら成長することができ、ライバルでもあり、親友でもある人が増えた。留学生活が終わってなかなか会えなくなってしまうが、将来またいつか会おうという約束をしたり友達のいる国に遊びに行きたいという感情が芽生えた。一期一会という言葉が身に染みて感じる事が出来た一年だった。留学を通して自分のやりたいことが今まではちゃんと見つからなかったが韓国語ができるという強みを生かして語学力を生かした仕事に就きたいと思うようになったり、1年間留学をしている間にいろいろな職業や考え方を見てきて自分の将来像についてちゃんと考えることができた1年になった。

まだ明確ではないがグランドスタッフやCAなどの職業や観光業界などの日本に旅行に来る人たちが楽しく、いい気分で出入国をしたり、いい気持ちで旅行や観光をしてほしいという考えが芽生え、外国人と接することが出来る職業に就きたいと考えるようになった。



沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	釜慶大学	
留学期間	2025年2月27日～2025年12月28日	
所属学部・学科	法学部・法律学科	※沖縄国際大学での所属学科
留学出発時の年次	3年次	※春出発の場合は4月時点の学年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	TOPIK 3級
帰国時	語学堂 5級（TOPIK は帰国後に受験予定）

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

<p>留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？ 所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。</p>
<p>留学前は基本的な会話ができる程度でしたが、帰国時には日常会話はそつなくできるレベルに成長したと思います。</p>
<p>語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。</p>
<p>私は語学力の向上以外に異文化交流・理解を深めることを目的としていました。語学堂は日本人以外にも海外からの留学生も多かったため、実際に他の国々の文化に触れ、新しい発見をすることができました。また、実際に韓国で生活することにより、日本にいただけでは経験することのできないことができたと思います。</p>
<p>その他、留学成果や今後の目標を記述してください。</p>
<p>私はこの留学で語学力はもちろん、約1年の間に沢山の経験をして沢山の人の人に出会えました。周りの支えのありがたさと大切さを学ぶ他にも日本や沖縄のよさも改めて学ぶことができたと思います。今後も語学力向上を目指し、韓国語の勉強を継続していきたいと思えます。</p>

【出国前の手続きについて】

● 事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	留学先の大学について調べたことや留学の先輩たちに話をきいたことが役に立ったと思います。事前にどんな大学なのか知ることで留学の心構えをすることができました。
--------------------------	---

● ビザについて

ビザの種類	D-2
申請から発行までかかった期間	6日程度
申請時期	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 ・ <input type="checkbox"/> 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、予防接種や健康診断書の有無など	沖縄でのビザの申請ができなかったため、福岡の大使館まで行きました。

● 出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
郵便局からEMSで送りました。事前に段ボール2箱分送りましたがEMSで1週間で届きました。

● 出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄りの空港からの移動手段と所要時間など
那覇空港から金海空港までの直行便で行きました。 大体2時間ぐらいだったと思います。
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
釜慶大学のピックアップサービスを利用しました。 釜慶大学から事前にピックアップに関する連絡がきたのでそれに従って申し込みしました。
その他出発前に準備しておくべきこと
白背景の証明写真を数枚持って行きました。 事前に寝具類や日本のお菓子やレトルト食品を送っておいて良かったと思いました。

【到着直後の手続きについて】

● 現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など

交換留学生が対象のオリエンテーションがあり、留学生の歓迎会やキャンパツアーがありました。

参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など

その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など

外国人登録書の申請を大学で行い、その後の指紋登録を出入国管理局で行いました。申請から発行まで1ヶ月半から2ヶ月ぐらいかかったとも思います。私は奨学金をもらっていたので、外国人登録書が発行される前に学校の指示に従って奨学金が入る銀行口座を開設しました。

【留学先大学の施設環境について】

● 留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について

留学生同士、および現地学生との交流について

日本人の交換留学生は10人程度だったと思います。その他にも中国やベトナムなどのアジア圏を中心に様々な国の人たちがいました。I-Friendという韓国人学生と交流する活動があります。

大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか（使用可能か）

PCの有無と使用について ※PC教室の有無と授業等におけるノートPCの持ち込みの必要性について

大学内にはコンビニ、銀行、郵便局、カフェなど様々な施設が備わっています。

私はPCの代わりにiPadを使って授業を受けていました。PCは授業申請をするときなどに使っていたのでiPadとPCの両方持っていったよかったと思います。

● 危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。

宗教勧誘が多かったです。

保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。

沖縄国際大学の指定の保険に加入しました。

韓国でも6ヶ月経つと保険の加入が必要ですが日本人の場合は免除申請が可能なので、釜慶大学からもらった書類を記入して免除しました。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	約42万円 円（ <input type="checkbox"/> 月 ・ <input type="checkbox"/> 学期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 年 ）
	支払い時期と方法	銀行で現金振り込み
滞在先② ※転居した場合	住居種別	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
	費用	円（ <input type="checkbox"/> 月 ・ <input type="checkbox"/> 学期 ・ <input type="checkbox"/> 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
<p>メリットは寮の1階にカフェとコンビニがあって食堂があります。デメリットはウォーターサーバーが奇数階にしかないことと電子レンジが1階にしかないことです。また女子寮は20階建てで私は19階に住んでたのですが、エレベーターが来るのに時間がかかります。</p>		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
<p>基本的には寮の食堂で食べてました。たまにデリバリーをしたり友達と外食してました。</p>		
どのような家具・日用品が用意されてましたか？		
購入する必要があったものは何ですか？		
日本から持っていきべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
<p>寮の部屋にはベット、机、冷蔵庫がありました。日用品が買えるお店が大学の近くになかったので日本から寝具類を送りました。ヘアアイロンは日本から持参しドライヤーは現地で買いました。</p>		
日常の買い物について		
<p>大学の近くにあるスーパーやダイソーで買っていました。</p>		
現地での移動手段について		
<p>基本的に地下鉄を利用していました。韓国は日本より交通費が安いのでたまにタクシーも利用していました。</p>		
休暇中の過ごし方について		
<p>休日は友達と買い物したりしてました。長い休みには韓国国内旅行に行っていました。</p>		

【現地での授業について】

● 授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
交換留学生は1年生扱いで、授業登録の優先順位が低かったのであまりとりたい授業がとれませんでした。 先生にメールしたり直接交渉しに行きました。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
語学堂は毎日真面目に授業を受けていれば問題ないと思います。 大学の授業も真面目に授業を受けてテスト勉強をしっかりすれば問題ないと思います。私が沖縄国際大学で受けていた授業に比べて発表が多いなと感じました。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
サークルなどには参加していませんでした。	

● 留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
大学韓国語 I（前期）	3		
中級日本語会話 I（前期）	2		
映像で見る韓国文化 I（後期）	3		
マスメディア日本語	3		
初級日本語会話 II	2		
語学堂 3 級			
語学堂 4 級			
語学堂 5 級			

- ・ 履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・ 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
2月 27日	現地到着
2月 28日	交換留学生オリエンテーション
3月 4日	1学期講義開始
3月 31日	ピンクキャンパス
4月中旬	1学期中間テスト
5月 27～29日	学祭
6月下旬	1学期期末テスト
7月～	夏休み
9月 1日	2学期講義開始
10月下旬	2学期中間テスト
10月 30日	イエローキャンパス
12月中旬	2学期期末テスト
12月 21日	冬休み
月 日	
月 日	
12月 28日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		5万5150		円	
B. 海外旅行保険（1年）		14万4020		円	
C. 授業料（1年） ※冲国大に納める授業料は除く		語学堂 27万（3学期分）		円	
D. 教材費（1年）				円	
E. 生活費 (月額/年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	42000	円（月額）	42万	円（年額）
	食費	30000	円（月額）	30万	円（年額）
	交通費	3000	円（月額）	3万	円（年額）
	携帯代金	3500	円	1万4000	円（年額）
	交際費（娯楽代）	30000	円（月額）	30万	円（年額）
	その他	10000	円（月額）	10万	円（年額）
生活費合計		11万8500	円（月額）	118万	円（年額）
F. 留学生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)				約170万	円

- 留学費用について

費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
<p>外国人登録証ができるまでは日本から持って行ったクレジットカードと WOWPASS という韓国で使えるデビットカードのようなものを使用していました。銀行口座ができてからはクレジットカードと韓国のチェックカードを使用していました。奨学金をもらっていたので日本から送金したことはないです。</p>
<p>留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。</p>
<p>留学中はお金以外にも気にすることが沢山あると思うので、お金のことはあまり気にせずに生活するいいと思います。釜慶大学は給付型の奨学金もあるので、お金のことは気にせず思いっきり留学生活を楽しむことをおすすめします。</p> <p>円安のこともあるので、日本から持って行った現金は一度にすべて換金せず使う分だけその都度換金するいいと思います。</p>

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	釜慶大学	
留学期間	2025年2月27日～2025年12月28日	
所属学部・学科	法学部・法律学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	4年次	※春学期派遣の場合は4月時点の年次

本文 (3,000字以上)

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

①はじめに

私は2025年2月から2025年12月までの約1年間、交換留学生として韓国にある釜慶大学に留学しました。留学前は、言語面や生活面に対する不安が大きく、現地での授業についていけるのか、海外での生活に適應できるのかという気持ちを抱えていました。しかし、実際に留学生活を終えた今、そのような不安も含めてすべてが貴重な経験となり、自分自身の成長につながったと強く感じています。留学をしようか悩んでいる人がいたらぜひ学生のうちに挑戦して見てほしいと思っています。留学中は、語学堂や大学の授業を通して韓国語や韓国文化を学ぶだけでなく、寮生活や日常生活、国内旅行など様々な経験をすることができました。この報告書では私が約1年間の留学生活の間に感じたことを中心にまとめていきたいと思います。

②学業 (語学堂・大学)

留学期間中、私は語学堂に通い、韓国語の学習に力を入れました。語学堂は3級からスタートし、最終的には5級まで修了することができました。授業はすべて韓国語で行われていましたが、先生方がとても分かりやすく丁寧に説明してくださったため、想像していたほど大変だと感じることはありませんでした。語学堂の授業では、文法や語彙だけでなく、会話練習を中心とした実践的な学習が多く行われていました。留学前は、韓国語で話そうとすると言葉につまってしまい、思っていることを最後まで伝えられないことが多くありました。しかし、留学生活を通して韓国語を使う機会が増えたことで、次第に会話がスムーズになり、以前よりもすらすらと話せるようになりました。また、日本にいた時には知らなかった単語や表現も身につけ、韓国人との会話にも自信を持てるようになりました。語学堂では多国籍な学生と共に学ぶ環境であったため、韓国だけでなく、さまざまな国の文化に触れることができました。その中で、日本や沖縄について質問を受けることも多く、自分自身が意外と自国の文化について詳しく知らないことに気づかされました。相手に説明しようとする中で、日本や沖縄について改めて学び直すきっかけにもなりました。また、授業では韓国の文化や伝統だけでなく、韓国社会で問題となっている出来事や現代的な課題についても学ぶ機会がありました。語学学習と同時に、韓国社会への理解を深めることができた点は、留学ならではの大きな学びだったと感じています。

大学の授業では、韓国語での発表にも取り組みました。最初は難しさを感じましたが、事前に何度も練習を重ねることで、徐々に自信を持って発表できるようになりました。さらに、日本語に関する授業も履修し、韓国の大学生は日本語をどのように学んでいるのかを知ることができました。特にマスメディア日本語の授業では、日本人である私自身も知らなかった日本の文化や社会について学ぶことができ、日本を外側から見る視点を得る貴重な経験となりました。

③寮生活

留学期間中、私は大学の寮で生活しました。寮は2人部屋で、門限が設けられており、安全面がしっかりと考えられた環境でした。特に留学生が多く生活していたこともあり、セキュリティ面への配慮も行き届いていると感じました。また、大学周辺の治安も比較的良く、初めての長期の海外生活でも安心して生活することができました。寮生活で特に印象に残っているのは食事面です。寮の食事は辛い料理が多く、辛いものが苦手な私は慣れるのに苦労しました。そのため、留学期間の後半はデリバリーや外食を利用することが多くなりました。寮では料理ができず、電子レンジも1階にしか設置されていなかったため、生活面で不便を感じる場面もありました。また、私は19階に住んでいたため、移動のたびにエレベーターを利用する必要がありましたが、授業前の時間帯や食堂の利用時間になるとエレベーターが非常に混雑し待ち時間が長くなったりと日常生活の中で小さな不便を感じることもありましたが、一方で、通常は門限が設置されており、時間外に入ると罰点をもらってしまいますが、テスト期間中は24時間開放されるので、時間を気にせず過ごすことができました。また、門限があるため夜遅くまで外出することが少なくなり、3食ご飯がついていたため自然と生活リズムが整いました。結果として体調を崩すことも減り、安全面だけでなく健康面においてもいい影響があったと感じています。

④長期休暇の過ごし方

留学期間中の長期休暇には、主に韓国国内を旅行して過ごしました。ソウル、済州島、大田など長期の休暇を利用して友達とたくさん旅行をしました。旅行先では、その地域を観光しつつ、その地域に住んでいる友人に会いに行くことがほとんどでした。日本でしか会ったことのない友人と韓国で再会する経験はとて不思議で、国を越えたつながりを実感しました。また、旅行の際には韓南大学や嘉泉大学にも足を運びました。実際にキャンパスを見学することで大学ごとの雰囲気なども見ることができて面白かったです。移動手段については、釜山からソウルまではKTXを利用すると約3時間ほどで到着しますが、移動時間や値段を考えると飛行機の方が楽だと感じました。

⑤韓国生活を通じて感じたこと

留学期間を通して、韓国ならではの生活環境や社会の特徴を実際に体験することができました。その中で、日本との違いを感じる場面も多くあり、印象に残っていることがいくつかあります。まず、生活の中で宗教勧誘を受ける機会が多かったことが印象的でした。私は学校内で声をかけられ1時間ほど話を聞く状況になり、連絡先を交換しそうになったことがありました。そのときは友達に助けを呼んでなんとかりましたが怖かったのを覚えています。また、滞在中にはデモが行われている場面を目にすることもあり、ニュースで見ただけでは分からない、韓国社会の現実を間近で感じる経験となりました。次に交通費の安さに驚きました。交通費が日本と比べて比較的安く、特にタクシー料金が日本よりも安価であったため、移動がしやすかったです。バスも日本より安いですが走行中に大きく揺れることが多く気持ち悪くなってしまうことがあったのであまり利用しませんでした。そして、カフェの数が非常に多く、夜遅くまで営業している店も多かったため、勉強や友人との交流の場としてよく利用しました。さらに、韓国の宅配文化は非常に発達しており、注文から到着までが早く、日常生活の中でとても便利だと感じました。沖縄に住んでいると届くまでに時間がかかってしまったり送料が発生したりしますが、韓国では買った物がすぐ届きます。また、デリバリーも沖縄と比べて早く

届くのでよく利用していました。このような環境のおかげで、留学生としての生活も快適に送ることができました。

⑥統括

本留学を終え、私は沖縄国際大学の4年生として新たなスタートを迎えます。この1年間の留学生活は、振り返ると人生で最も短く感じられるほど充実した時間でした。留学を通して、韓国語の力だけでなく、異なる文化や価値観の中で生活する力を身につけることができました。今後は TOPIK6 級の取得を目標とし、帰国後も韓国語の学習を継続していきたいと考えています。また、この留学生活は決して一人で成し遂げたものではなく、家族や友人、大学関係者の方々など、周囲の多くの支えがあったからこそ実現できたものだと感じています。周りのサポートのありがたさを改めて実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。この留学で得た経験と学びを、今後の学生生活や将来に活かしていきたいと思います。留学して本当によかったと心から感じています。約1年間ありがとうございました。